

クラウドバックアップサービス



AOSBOX
Business

管理者マニュアル

2023年12月12日改定版

AOSDATA

はじめに	P03
1. インストールと初期設定	P04 ~ 06
2. ホーム	P07 ~ 08
3. マイコンピューター	P09
4. ユーザー / サーバー	P10
- ユーザー	P10
- ユーザーの追加	P11 ~ 12
- ポリシーを変更 / 詳細 / 動作	P13
- ラベル	P14
- パソコン	P15
- パソコンの詳細 / 動作	P16
- サーバー	P17
- サーバーの詳細 / 動作	P18
- サーバーの追加	P19 ~ 20
- サーバー上でのインストール	P21 ~ 22
5. ポリシー	P23
- 通常のストレージ	P24
- コールドストレージ	P25
- 変数を挿入 / フィルター	P26
- 拡張子	P27 ~ 28
- デュアルバックアップ	P29
- 設定	P30 ~ 31
- 権限	P32
6. 設定	P33
- 保持設定	P33
- レポート	P34
7. レポート	P35
8. 管理者の設定	P36 ~ 37
9. 容量追加 / 期限延長	P38 ~ 39
10. 解約について	P40
11. パスワードを忘れた場合	P41 ~ 43
12. 動作環境と注意事項	P44 ~ 47
付録：サーバー/パソコンの入替時の対処	P48 ~ 52
付録：残容量が少なくなった場合の対処	P53 ~ 56
付録：ストレージ間の移動	P57 ~ 62

◆このマニュアルについて

このマニュアルは、AOSBOX Business DBをご利用いただく際、ユーザーの追加、バックアップ設定等の一括管理をする方法を参照していただくマニュアルとなります。

AOSBOX Business DBの通常の使用方法については、別紙ユーザーマニュアルをご参照ください。

◆前回からの更新

◇動作環境の変更

- ・対応OSが変更になりました。

1. インストールと初期設定

以下の手順に従って、AOSBOX Business DBをインストールします。

インストール時のご注意
インストールには、インターネットへの接続が必要となります。インストールするパソコンのインターネット接続をご確認の上、作業を開始してください。

- ① Webブラウザから新規登録画面
(https://ls.aosbox.com/register_d.php?cp=aokca)へアクセスし、全ての項目を入力し「登録」をクリックします。



- ② 「バックアップ概要」のページが開きますので、画面右上の「AOSBOX Business DBをダウンロード」をクリックします。



- ③ ダウンロードした「CloudBackupSetup」をダブルクリックします。



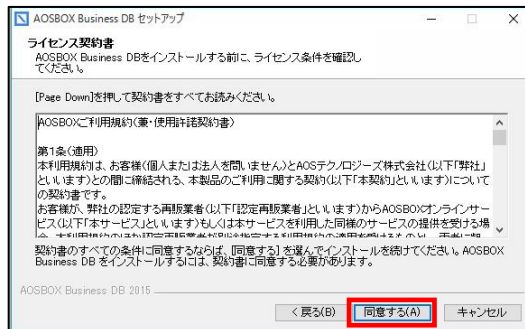
- ④ 「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されることがありますが「はい(Y)」をクリックします。



- ⑤ 「AOSBOX Business DB セットアップ」ダイアログが表示されます。「次へ(N)」をクリックします。

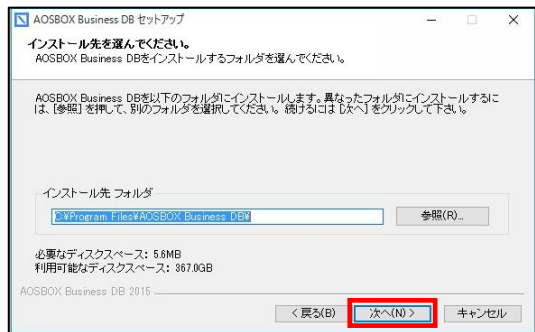


- ⑥ 「ライセンス契約書」が表示されますので、内容をご確認いただいた上で「同意する(A)」をクリックします。

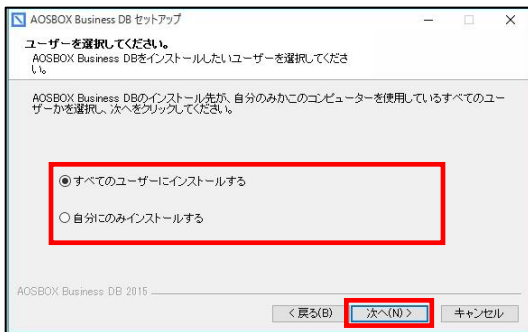


1. インストールと初期設定

- ⑦インストール先を指定します。特に変更が無い場合はそのまま「次へ(N)」をクリックします。

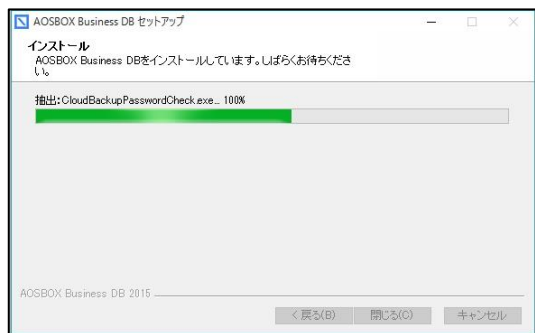


- ⑧インストール先のユーザーを選択し「次へ(N)」をクリックします。

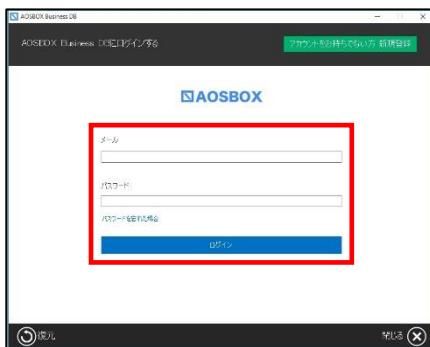


インストール先のご注意
特に必要が無い場合は、インストール先は変更しないでください。また、必要により変更する場合は、必ずインストール先に「AOSBOX」フォルダーを作成の上、そのフォルダーを指定してください。

- ⑨インストールが開始します。しばらくするとインストールが終了します。



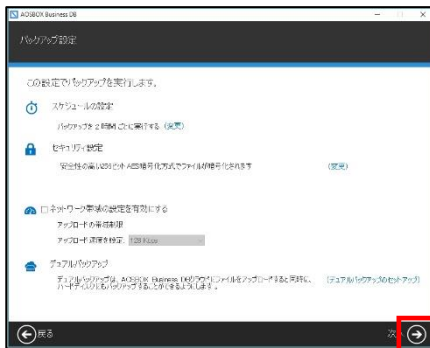
- ⑩下画面が表示されます。①で登録したメールアドレス、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



- ⑪「バックアップデータの選択」画面が表示されます。対象カテゴリーにチェックを入れ、画面右下の「→」をクリックします。



- ⑫「バックアップ設定」画面が表示されます。画面右下の「→」をクリックします。

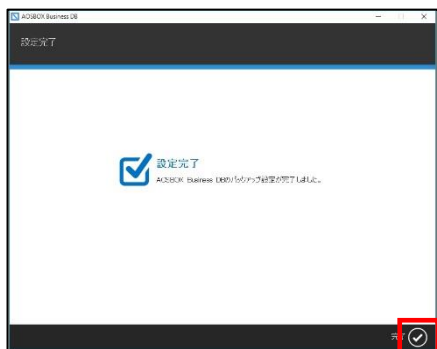


- ⑪個別にファイル・フォルダーをバックアップしたい場合は、画面上部の「選んでバックアップ」から選択します。

- ⑫スケジュールとセキュリティ、その他の設定が可能です。ユーザーマニュアルで詳しく説明します。

1. インストールと初期設定

- ⑬ インストールが完了しました。画面右下の「✓」をクリックします。



- ⑭ 「AOSBOX Business DB」ダイアログが表示されます。自動でバックアップを開始します。



- ⑭ 初回のバックアップは選択したファイルすべてをバックアップするため、時間がかかります。ご了承ください。

※すぐにバックアップを開始する場合は「**今すぐ実行**」をクリックします。

2. ホーム

ログインすると、以下画面が表示されます。この画面では、ユーザー数、サーバー数、ストレージ使用量等、AOSBOX Business DBを管理するにあたって基本的な情報を表示しています。

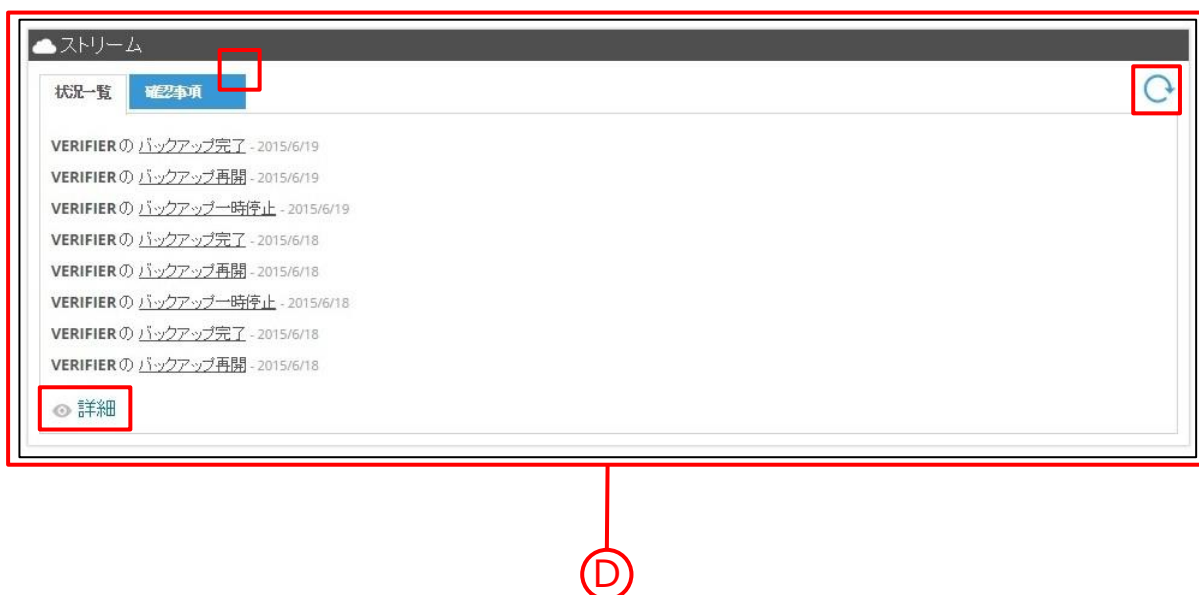
The screenshot shows the AOSBOX Business DB management dashboard. At the top is a navigation bar with the AOSBOX logo and a user menu (labeled B) showing 'AOSBOX 管理者'. The main navigation bar includes links for Home, My Computer, User/Server, Policy, Settings, Reports, and Purchase. Below this is a 'Backup Summary' section. The dashboard is divided into three main columns: 'User' (labeled D) showing 3 users in use, 'Server' (labeled E) showing 0 servers in use, and 'Purchase' (labeled C) showing a remaining term of 1999 days. At the bottom, there are sections for 'Normal Storage' and 'Cold Storage', both showing 0 bytes used of 100GB, and a 'Quick Link' section (labeled F) with links to add users, add servers, create policies, show PCs, and set account settings.

- (A) 「マイコンピュータ」、「ユーザー / サーバー」等、それぞれの画面へ移動します。
- (B) 現在ログインしているアカウントを表示しています。ここからアカウント設定、管理者の設定、ログアウトが可能です。
- (C) AOSBOX Business DBクライアントプログラムをダウンロードします。
- (D) このアカウントで管理中のユーザー数を表示しています。「ユーザーの管理」をクリックすると「ユーザー」画面へ移動します。
- (E) このアカウントで管理中のサーバー数を表示しています。「サーバーの管理」をクリックすると「サーバー」画面へ移動します。
- (F) このアカウントでの契約情報、課金情報（次回のお支払日）を表示しています。「今すぐ購入」をクリックすると「購入」画面へ移動します。

2. ホーム



- Ⓐ 通常のストレージで使用中の容量を表示しています。円グラフをクリックするとユーザーごとの内訳を表示します。「ストレージ容量を追加」をクリックすると「購入」画面へ移動します。
- Ⓑ コールドストレージで使用中の容量を表示しています。円グラフをクリックするとユーザーごとの内訳を表示します。「ストレージ容量を追加」をクリックすると「購入」画面へ移動します。
- Ⓒ 「ユーザーの追加」、「サーバーの追加」等、直接それぞれの機能へ移動します。



- Ⓓ 各端末の動作状況をリストで表示しています。「詳細」をクリックすると「レポート」画面の状況一覧へ移動します。また、確認事項がある場合はタブにアラートが表示されます。最新の情報に更新する場合は、右上の更新ボタンをクリックします。

3. マイコンピューター

「マイコンピューター」タブを選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、ログインしているユーザーがバックアップしているファイル・フォルダーの詳細を表示します。また、この画面上でファイル・フォルダーのアップロード、ダウンロードを行うことができます。詳しくは、別紙ユーザーマニュアルをご参照ください。

AOSBOX

ホーム

マイコンピューター

ユーザー/サーバー

ポリシー

設定

レポート

購入

検索

このフォルダを検索

検索

🏠

🔄

📁

🔗

🗑️

詳細

📋

🗃️

コンピューター	<input type="checkbox"/> 名前	サイズ	更新日時
<div><div>🖨️</div>VERIFIER</div>	<input type="checkbox"/> <div><div>📁</div>マイドキュメント</div>	--	--
<div><div>🗃️</div>WS2012R2STD</div>	<input type="checkbox"/> <div><div>📁</div>C</div>	--	--

AOSBOX Business
DBをダウンロード

共有

👤

共有されたアイテム

🔗

共有コンテンツの管理

0 項目を選択

2 全項目

「ユーザー / サーバー」タブを選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、ユーザーの追加、個別設定等を行います。

The screenshot shows the AOSBOX management interface. The top navigation bar includes tabs for 'ホーム', 'マイコンピュータ', 'ユーザー / サーバー', 'ポリシー', '設定', 'レポート', and '購入'. The left sidebar has a 'ユーザー' section with 'パソコン' and 'サーバー' sub-sections, category filters 'カテゴリ-A' and 'カテゴリ-B', and a 'ダウンロード セットアップ' button. The main content area displays a table of users with columns: '名前', 'ラベル', 'ポリシー', '通常のストレージの制限', 'コールドストレージ制限', '使用容量', and 'コールドストレージの使用容量'. The table lists three users: 'AOSBOX ユーザ...', 'AOSBOX ユーザ...', and 'AOSBO...(あなた)'. A red box highlights the 'ダウンロード セットアップ' button. A red circle 'I' points to the table. A red circle 'H' points to the 'ダウンロード セットアップ' button. A red circle 'G' points to the 'ヘルプ' icon. A red circle 'F' points to the search bar. A red circle 'E' points to the '詳細' button. A red circle 'D' points to the 'ポリシーを変更' button. A red circle 'C' points to the 'ポリシー' tab. A red circle 'B' points to the 'ユーザーへの展開' button. A red circle 'A' points to the 'ユーザーの追加' button. A callout box points to a three-dot menu icon in the table, labeled '動作アイコン ※P13を参照'.

- (A) ユーザーの追加を行います。詳しくはP11以降をご参照ください。
- (B) アクティブディレクトリを使用してユーザーにAOSBOX Business DBを配布する場合に使用します。
※本機能はβ版であり、現在はサポート対象外となります。
- (C) 「ポリシー」タブで作成したポリシーをユーザーごとに設定します。詳しくはP13をご参照ください。
- (D) ラベルを設定します。作成したラベルをユーザーごとに振り分けることによって管理し易くします。詳しくはP14をご参照ください。
- (E) ユーザーに対して様々な操作を行います。詳しくはP13をご参照ください。
- (F) 任意の文字を入力してユーザーを検索します。
- (G) ヘルプを表示します。
- (H) クライアントアプリのインストーラー「CloudBackupSetup.exe」をダウンロードします。
- (I) 管理しているユーザーを一覧で表示します。



ユーザーを追加するには「メールで招待」「手動で追加」「csvファイルで一括追加」の三つの方法があります。

- A** 空欄に追加したいユーザーのメールアドレスを入力して「ユーザーを追加」をクリックし、次に表示される画面でポリシー、ストレージ制限（最小：1GB）を設定して「OK」をクリックします。メールを受け取ったユーザーはメール中のリンクから、AOSBOX Business DBの新規登録を行います。

※ストレージ制限に入力する際は、文字入力の「全角」モードを無効にしてください。

ユーザー / サーバーの管理 > メールで招待

ユーザーは、送信された招待メールのリンクから、AOSBOX Business DBの利用開始手続きを行います。

終了:

Note: メールアドレスは、コンマ、セミコロン、またはスペースで区切ります...

メールの件名を編集し、本文を追加するには、ここをクリックします。

手動でユーザーを追加するには、手動で追加
複数のユーザーを一括で追加するには、csv

件名編集、本文追加をする場合はここをクリック

ユーザーを追加

- B** 空欄に追加したいユーザーの氏名、メールアドレス、パスワードを入力し、ポリシー、ストレージ制限（最小：1GB）を設定して「ユーザーを追加」をクリックします。

※ストレージ制限に入力する際は、文字入力の「全角」モードを無効にしてください。

ユーザー / サーバーの管理 > 手動で追加

ユーザーを追加するには、下記の情報を入力してから、AOSBOX Business DBクライアントのセットアップファイルをダウンロードしてインストールしてください。

氏名:

メールアドレス:

パスワード:

パスワードの確認:

ポリシー:

ユーザー定義 ▼

通常のストレージ制限:

制限なし

 GB

コールドストレージ制限:

制限なし

 GB

AOSBOX Business DBにユーザーを招待するには、メールで招待を使用します。
複数のユーザーを一括で追加するには、csvファイルで一括追加を使用します。

ユーザーを追加



複数のユーザーを一度に追加するにはCSVファイルを作成しアップロードします。「**ファイルを選択**」をクリックして対象のCSVファイルを選択し「**アップロードして続行**」をクリックします。CSVファイルの作成については、サンプルファイルをダウンロードして参考にしてください。

ユーザー / サーバーの管理 > csvファイルで一括追加

手順 1 / 2 複数のユーザーを一括で追加するには、CSVファイルを作成しアップロードしてください。なおサンプルのCSVファイルをダウンロードし、編集することも可能です。

記入例

名	姓	メールアドレス	パスワード (最低6文字)	ポリシー (空欄 ユーザー定義)	通常のストレージ制限 (GB) (0: 制限なし)	コールドストレージ制限 (GB) (0: 制限なし)
John	Doe	John@company.com	aX12?D3\$		5	0
Sara	Smith	Sara@company.com	2U&sT?xR	IT Policy	0	100
Mark	Taylor	Mark@company.com	&yTx964Oj		100	0

*[ユーザー定義]を指定すると、そのユーザーはバックアップの設定を行う必要があります。

ユーザーリストの指定 (CSV):

ファイルを選択 選択されていません

アップロードして続行

サンプル サンプルのcsvファイルをダウンロード

表示された内容に相違がないか確認の上「**完了**」をクリックします。

ユーザー / サーバーの管理 > csvファイルで一括追加

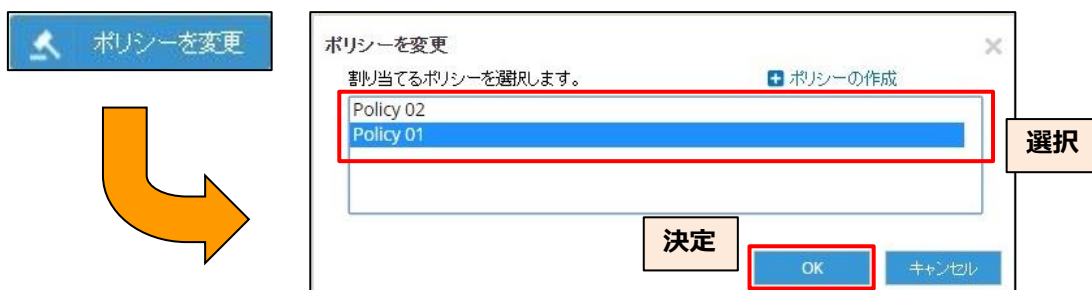
手順 2 / 2 内容を確認し、「完了」をクリックして完了してください。

名	姓	メールアドレス	パスワード (最低6文字)	ポリシー (空欄 ユーザー定義)	通常のストレージ制限 (GB) (0: 制限なし)	コールドストレージ制限 (GB) (0: 制限なし)
John	Doe	John@company.com	*****	ユーザー定義	5 GB	制限なし
Sara	Smith	Sara@company.com	*****	IT Department	制限なし	5 GB
Mark	Taylor	Mark@company.com	*****	ユーザー定義	制限なし	制限なし

別のファイルをアップロード

完了

「ポリシーを変更」をクリックして、チェックを入れたユーザーのポリシーを変更します。ポリシーを適用することによって、ユーザー自身でバックアップの設定を行わなくても、ポリシーに基づく設定を反映させることが可能です。ポリシーを適用していない場合は「ユーザー定義」と表示され、ユーザー自身がそれぞれバックアップの設定をする必要があります。ポリシーを割り当てるには、事前にポリシーを作成しておく必要があります。ポリシーの作成についてはP23以降をご参照ください。また、一度割り当てたポリシーを削除するには、対象ユーザーの「動作アイコン」から「ポリシーを削除」をクリックします。

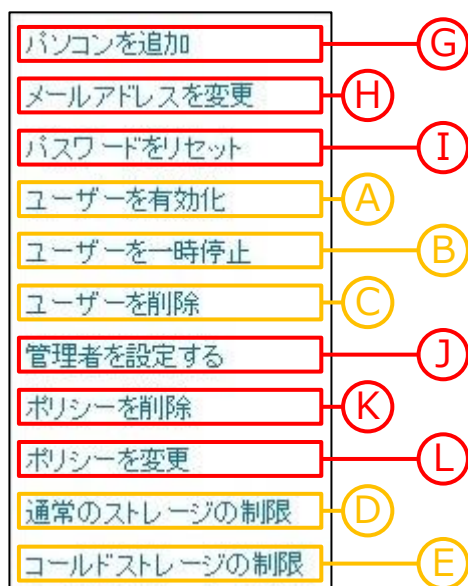


「詳細」をクリックすると下図のメニューが表示されます。

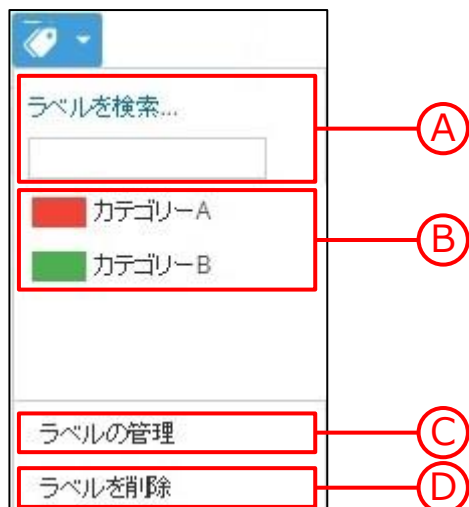


- (A) 使用を一時停止していたユーザーを使用可能にします。
- (B) ユーザーの使用を一時停止します。
- (C) ユーザー（バックアップデータを含む）を削除します。
- (D) ユーザーの通常ストレージ使用容量を制限します。
- (E) ユーザーのコールドストレージ使用容量を制限します。
- (F) ユーザー一覧をCSVファイルにしてダウンロードします。

「動作アイコン」をクリックすると下図のメニューが表示されます。



- (G) 任意のユーザーにバックアップするパソコンを追加する場合は、ここからAOSBOX Business DBをダウンロードし、対象のパソコンにインストールします。
- (H) ユーザーのメールアドレスを変更します。変更を行うとバックアップが停止します。再開するにはAOSBOX Business DBクライアントアプリを開いてログインし直してください。
- (I) ユーザーのパスワードを変更します。
- (J) ユーザーに管理者権限を付与します。
- (K) ユーザーに割り当てたポリシーを削除します。
- (L) ユーザーに割り当てたポリシーを変更します。



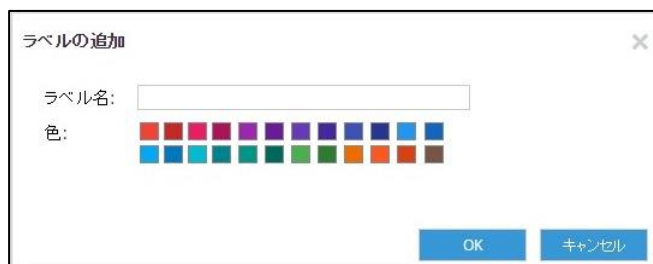
「ラベルアイコン」をクリックすると左図のメニューが表示されます。ユーザーを任意のカテゴリに振り分けて管理する場合、ラベルを使用することによって、管理し易くなります。

- (A) 登録してあるラベルを検索します。
- (B) 登録してあるラベルを表示します。
- (D) チェックを入れたユーザーのラベルを削除します。

(C) 登録してあるラベルを管理する画面（下図）に移動します。「ラベルの追加」をクリックして、新たにラベルを登録することができます。また、「動作アイコン」をクリックすることでラベルの編集／削除を行うことができます。



「ラベルの追加」をクリックすると、以下ダイアログが表示されます。ラベル名、色を指定して新たにラベルを登録することができます。



「ユーザー / サーバー」タブを選択し、左端の「パソコン」を選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、パソコンの個別設定等を行います。

ユーザー / サーバーの管理

ユーザーの追加 ユーザーへの展開 サーバーの追加 詳細

パソコンを検索...

ユーザー

パソコン

サーバー

カテゴリA

カテゴリB

ラベルの追加

ラベルの管理

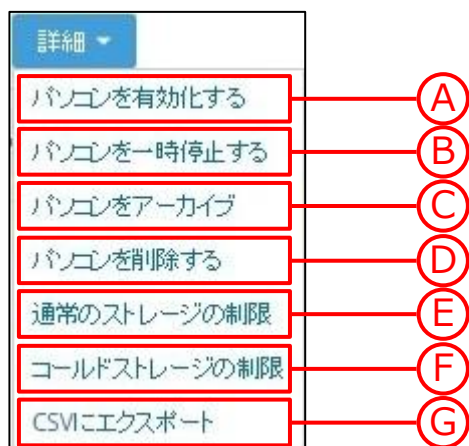
ダウンロード セットアップ

<input type="checkbox"/>	ユーザー名/コンピュータ名	状態	最後の操作	通常のストレージの制限	コールドストレージ制限	使用容量	コールドストレージの使用容量
<input type="checkbox"/>	AOS/VERIFIER	有効	2016/4/18	制限なし	制限なし	0 bytes	0 bytes

動作アイコン ※P16を参照

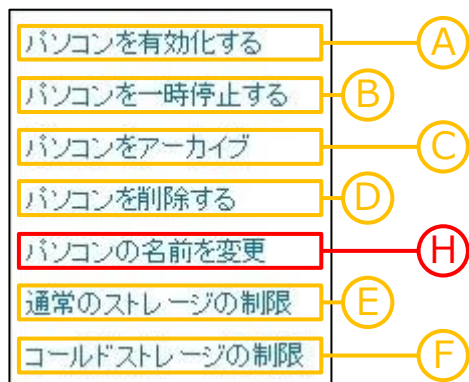
- Ⓐ パソコンに対して様々な操作を行います。詳しくはP16をご参照ください。
- Ⓑ 任意の文字を入力してパソコンを検索します。
- Ⓒ ヘルプを表示します。
- Ⓓ クライアントアプリのインストーラー「CloudBackupSetup.exe」をダウンロードします。
- Ⓔ 管理しているパソコンを一覧で表示します。

「詳細」をクリックすると下図のメニューが表示されます。



- (A) 使用を一時停止していたパソコンを使用可能にします。
- (B) パソコンの使用を一時停止します。
- (C) データを残した上で、パソコンのバックアップを終了します。
- (D) パソコン（バックアップデータを含む）を削除します。
- (E) パソコンの通常ストレージ使用容量を制限します。
- (F) パソコンのコールドストレージ使用容量を制限します。
- (G) パソコン一覧をCSVファイルにしてダウンロードします。

「動作アイコン」をクリックすると下図のメニューが表示されます。



- (H) パソコンの名前を任意のものに変更します。

「ユーザー / サーバー」タブを選択し、左端の「サーバー」を選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、サーバーの追加、個別設定等を行います。

ユーザー / サーバーの管理

サーバーの追加 (A) ポリシーを変更 (B) 詳細 (C)

サーバーを検索... (D)

ヘルプ (E)

名前	サーバー名 / 有効化トークン	ポリシー	通常のストレージの制限	コールドストレージ制限	使用容量	コールドストレージの使用容量
<input type="checkbox"/>	AOSBOX 管... WS2012R2STD	ユーザー定義	制限なし	制限なし	0 bytes	0 bytes

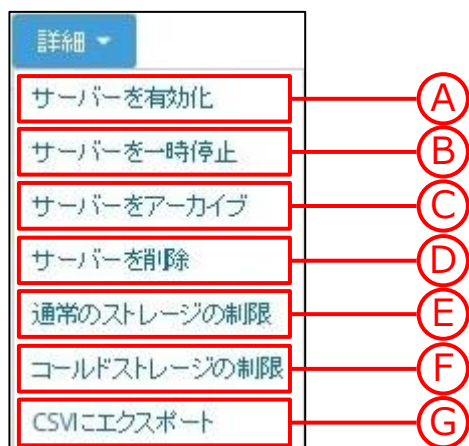
動作アイコン ※P18を参照

ダウンロード セットアップ (F)

管理しているサーバーを一覧で表示します (G)

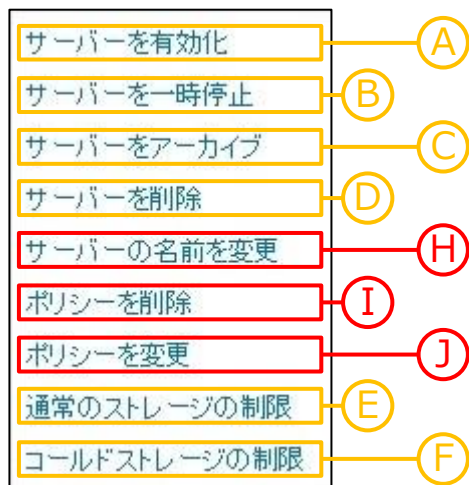
- (A) サーバーの追加を行います。詳しくはP19以降をご参照ください。
- (B) 「ポリシー」タブで作成したポリシーをサーバーごとに設定します。詳しくはP13をご参照ください。
- (C) サーバーに対して様々な操作を行います。詳しくはP18をご参照ください。
- (D) 任意の文字を入力してサーバーを検索します。
- (E) ヘルプを表示します。
- (F) クライアントアプリのインストーラー「CloudBackupSetup.exe」をダウンロードします。
- (G) 管理しているサーバーを一覧で表示します。

「詳細」をクリックすると下図のメニューが表示されます。



- (A) 使用を一時停止していたサーバーを使用可能にします。
- (B) サーバーの使用を一時停止します。
- (C) データを残した上で、サーバーのバックアップを終了します。
- (D) サーバー（バックアップデータを含む）を削除します。
- (E) サーバーの通常ストレージ使用容量を制限します。
- (F) サーバーのコールドストレージ使用容量を制限します。
- (G) サーバー一覧をCSVファイルにしてダウンロードします。

「動作アイコン」をクリックすると下図のメニューが表示されます。



- (H) サーバーの名前を任意のものに変更します。
- (I) サーバーに割り当てたポリシーを削除します。
- (J) サーバーに割り当てたポリシーを変更します。

以下の手順に従って、サーバーを追加します。

- ① Webコンソール上で「ユーザー / サーバー」をクリックすると、以下の画面が表示されます。「サーバーの追加」をクリックします。



- ② 以下の画面が表示されます。管理者を選択し、ストレージ制限（最小：1GB）、ポリシーを設定して「サーバーの追加」をクリックします。
※ストレージ制限に入力する際は、文字入力の「全角」モードを無効にしてください。



- ③ 以下の画面が表示されます。サーバーでクライアントアプリをインストールする時に必要になる有効化トークンが表示されるので、メモ帳等に張り付けて保存しておいてください。その後、「セットアップのダウンロードに進みます」をクリックします。



- ④ 「CloudBackupSetup」のダウンロードが始まり、以下画面へ移動します。設定したサーバー情報が反映されていることを確認してください。ダウンロードしたファイルで、サーバーにクライアントアプリをインストールして作業は完了です。



以下の手順に従って、AOSBOX Business DBをインストールします。

インストール時のご注意
インストールには、インターネットへの接続が必要となります。インストールするサーバーのインターネット接続をご確認の上、作業を開始してください。

インストール先のご注意
特に必要が無い場合は、インストール先は変更しないでください。また、必要により変更する場合は、必ずインストール先に「AOSBOX」フォルダーを作成の上、そのフォルダーを指定してください。

⑤サーバーの管理者権限を持っているユーザー名とパスワードを入力します。アカウントがドメインに参加している場合は「ドメイン名¥ユーザー名」または「ユーザー名@ドメイン名」と入力してください。

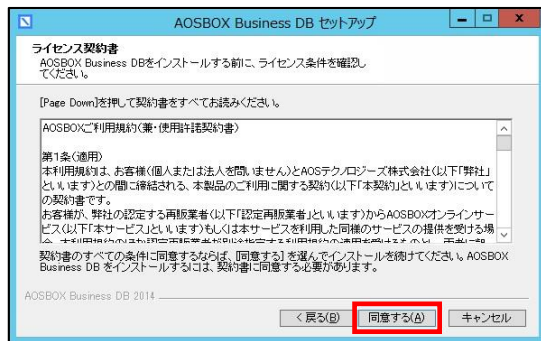
- ①管理者のWebコンソールからダウンロードした「CloudBackupSetup」をダブルクリックします。



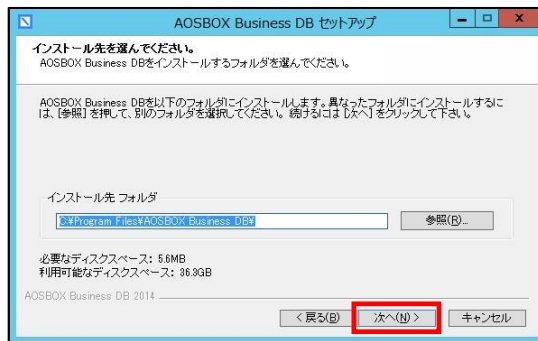
- ②「AOSBOX Business DB セットアップ」ダイアログが表示されます。「次へ(N)」をクリックします。



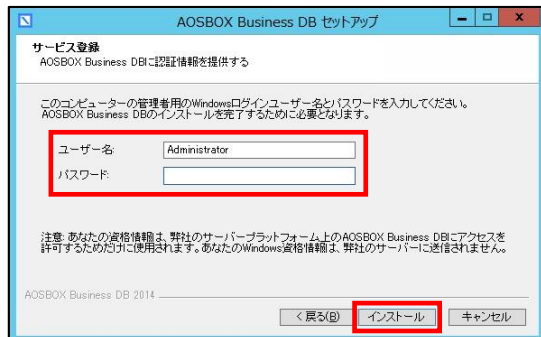
- ③「ライセンス契約書」が表示されますので、内容をご確認いただいた上で「同意する(A)」をクリックします。



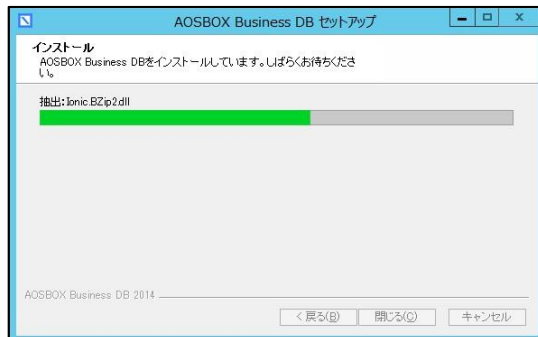
- ④インストール先を指定します。特に変更が無い場合はそのまま「次へ(N)」をクリックします。



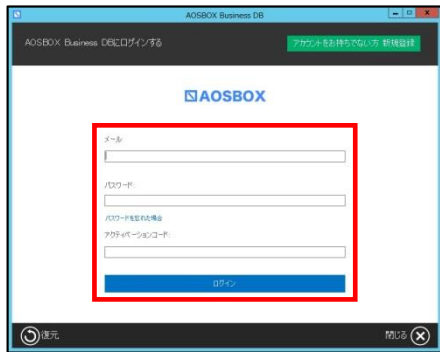
- ⑤「サービス登録」が表示されますので、Windowsログインユーザー名、パスワードを入力して「インストール」をクリックします。



- ⑥インストールが開始します。しばらくするとインストールが終了します。



- ⑦管理者のメールアドレス、パスワード、Webコンソールでの作業時に発行された有効化トークンを入力し、「ログイン」をクリックします。ポリシーを設定されている場合は、⑩へ進んでください。



- ⑧「バックアップデータの選択」画面が表示されます。対象カテゴリーにチェックを入れ、画面右下の「→」をクリックします。

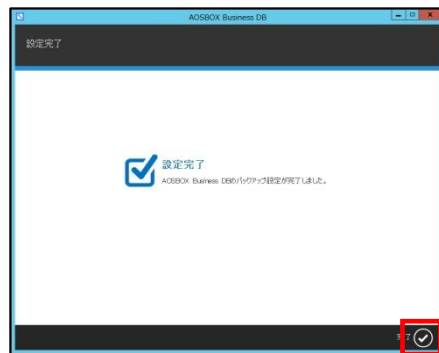


- ⑨個別にファイル・フォルダーをバックアップしたい場合は、画面上部の「選んでバックアップ」から選択します。

- ⑨「バックアップ設定」画面が表示されます。画面右下の「→」をクリックします。



- ⑩インストールが完了しました。画面右下の「✓」をクリックします。



- ⑫スケジュールとセキュリティ、その他の設定が可能です。ユーザーマニュアルで詳しく説明します。

- ⑪「AOSBOX Business DB」ダイアログが表示されます。自動でバックアップを開始します。



- ⑪初回のバックアップは選択したファイルをすべてバックアップするため、時間がかかります。ご了承ください。

※すぐにバックアップを開始する場合は「今すぐ実行」をクリックします。

5. ポリシー

「ポリシー」タブを選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、ユーザーに適用するバックアップポリシーを作成します。

ポリシー名	ユーザー数	サーバー数	作成日	動作
Policy 01	0	0	2016/01/08	

Ⓐ ポリシーの作成を行います。詳しくはP24以降をご参照ください。

Ⓑ 該当するポリシーの編集を行います。

Ⓒ 該当するポリシーを削除します。

Ⓓ ヘルプを表示します。

「ポリシーの作成」をクリックすると以下画面へ移動します。「通常のストレージ」「コールドストレージ」「拡張子」「デュアルバックアップ」「設定」「権限」それぞれの設定を行い最後にポリシー名をつけて「保存」をクリックします。

ポリシーの管理 > ポリシーの作成

ポリシー名:

通常のストレージ

通常のストレージにおいて、バックアップする項目を設定することが可能です。

A 「おまかせバックアップ」は、各カテゴリー、フォルダごとにまとめてバックアップする場合に使用します。バックアップ対象にチェックを入れて選択してください。

B 「手動選択」は、任意のファイル・フォルダーを個別に選択してバックアップする場合に使用します。希望のファイル・フォルダーのアドレスを直接入力します。また、各ユーザーそれぞれのマイドキュメントやデスクトップ等のフォルダーを一括指定する場合は、「変数を挿入」をクリックして設定します。「変数を挿入」「フィルター」についてはP26をご参照ください。

「ファイルの場所」入力例：D:¥Data¥Test.txt

コールドストレージ

コールドストレージにおいて、バックアップする項目を設定することが可能です。
コールドストレージは、長期間アクセスしないデータを保存するのに適しています。

A 「おまかせバックアップ」は、各カテゴリー、フォルダごとにまとめてバックアップする場合に使用します。バックアップ対象にチェックを入れて選択してください。

B 「手動選択」は、任意のファイル・フォルダーを個別に選択してバックアップする場合に使用します。希望のファイル・フォルダーのアドレスを直接入力します。また、各ユーザーそれぞれのマイドキュメントやデスクトップ等のフォルダーを一括指定する場合は、「変数を挿入」をクリックして設定します。「変数を挿入」「フィルター」についてはP26をご参照ください。

「ファイルの場所」入力例：D:¥Data¥Test.txt

変数を挿入

以下の変数を入力することによって、AOSBOX Business DBの標準のフォルダーパスとして識別され、ファイル・フォルダーを指定することが可能です。変数を入力するには、変数を選択して「変数を挿入」をクリックします。

変数を挿入

次の変数が、AOSBOXの標準のフォルダーパス(場所)として識別されます。変数をコピーするには、変数を選択して「変数を挿入」をクリックします。

変数	Mac OS X	Windows
<input checked="" type="radio"/> FOLDERID_Contacts	Not applicable	C:\Users\USERNAME\Contacts\
<input type="radio"/> FOLDERID_Desktop	/Users/USERNAME/Desktop/	C:\Users\USERNAME\Desktop\
<input type="radio"/> FOLDERID_Downloads	Not applicable	C:\Users\USERNAME\Downloads\
<input type="radio"/> FOLDERID_Favorites	/Users/USERNAME/Library/Favorites	C:\Users\USERNAME\Favorites\
<input type="radio"/> FOLDERID_Music	/Users/USERNAME/Music/	C:\Users\USERNAME\Music\
<input type="radio"/> FOLDERID_Pictures	/Users/USERNAME/Pictures/	C:\Users\USERNAME\Pictures\
<input type="radio"/> FOLDERID_Videos	/Users/USERNAME/Movies/	C:\Users\USERNAME\Videos\
<input type="radio"/> FOLDERID_Documents	/Users/USERNAME/Documents/	C:\Users\USERNAME\Documents\
<input type="radio"/> FOLDERID_USERPROFILE	/Users/USERNAME	C:\Users\USERNAME\

変数を挿入 閉じる

フィルター追加

バックアップするファイル・フォルダー群の中で、一部除外したいものがある場合にこの機能を使用します。

フィルター追加

フィルターを適用:

☐ 拡張子や条件式でフィルター

☐ 以下のファイルタイプや表現式を含める:

以下に拡張子や表現式を入力してください。例 (*.*;*.html;*.doc)

☐ 正規表現

☐ 以下のファイルタイプや表現式を除外する:

以下に拡張子や表現式を入力してください。例 (*.*;*.html;*.doc)

☐ 正規表現

☐ 次のサイズより大きいファイルをバックアップしない: GB

☐ 次の日付より古いファイルをバックアップしない:

送信 閉じる

A

特定のファイルのみをバックアップする場合、チェックを入れて拡張子、表現式（正規表現）を入力します。

B

除外するファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、表現式（正規表現）を入力します。

C

ファイルサイズを指定して、指定より大きいものを除外します。

D

更新日を指定して、指定より古いものを除外します。

拡張子

拡張子の指定による様々な設定、およびバックアップから除外するフォルダーを設定します。

通常のストレージ コールドストレージ 拡張子 デュアルバックアップ 設定 権限

シャドウコピーを行う拡張子
これらの拡張子を持つファイルは、ボリュームシャドウコピーサービスを介してバックアップされます。

*.pst;

Note: 拡張子はセミコロンで区切ってください (例 *.doc;*.txt;*.pst)

ブロックレベル バックアップを行う拡張子
次の拡張子を持つファイルは、ブロックレベルでの変更部分のみバックアップされます (5MB以上のファイルのみサポートされます)。

*.pst;

Note: 拡張子はセミコロンで区切ってください (例 *.doc;*.txt;*.pst)

おまかせバックアップの拡張子

▼ 電子書籍と年賀状データ

このおまかせバックアップ項目には、次の拡張子が含まれています:

.azw;.tpz;.azw1;.chm;.lit;.pdb;.pdf;.mobi;.prc;.tr;.tr2;.tr3;.fb2;.opf;.aeh;.lrf;.lrx;.epub;.pdg;.pkg;.dnl;.djvu;.kml;.arg;.bfi;.bkk;.brn;.ceb;.ebk;.ebo;.ebx;.etd;.f4b;.hsb;.imp;.mbp;.mep;.nat;.oeb;.rb;.scb;.skn;.stk;.swb;.tcr;.tk3;.ubk;.vbk;.xeb;.ybk;.zvr;.fwa;.fwb;.fzd;.pdn;.fga;.fgl;.idx;.fgt;.jsr;.jyd;.hsa;.hsd

拡張子はセミコロンで区切ってください。 リセット

▶ Officeファイル

▶ 会計ファイル

- (A)** 拡張子を指定することで、開いているファイルやロック中のファイルであっても、いったんスナップショット（シャドウコピー）を作成して、バックアップを可能にします。
- (B)** 指定した拡張子のファイルをブロック単位に分け、変更があったブロックのみをバックアップします。これによりアップロードにかかる時間を軽減することができます。
- (C)** 電子書籍と年賀状データ、Officeファイル、会計ファイルについて、おまかせバックアップでバックアップされるファイル拡張子の一覧を表示しています。また、直接入力することで新たに各カテゴリーへファイル拡張子を追加することが可能です。

A このポリシーのすべてのバックアップにおいて、除外する拡張子を入力します。

B このポリシーのすべてのバックアップにおいて、除外するフォルダーパスを入力します。変数を使用すると簡単にフォルダーパスを指定することができます。「変数を挿入」についてはP26をご参照ください。

デュアルバックアップ

AOSBOX Business DBでのバックアップと共にローカルドライブにもバックアップを取りたい場合にこの機能を使用します。バックアップを二重にすることによって、堅牢性を高め、コールドストレージの復元に要する時間を短縮することもできます。

デュアルバックアップ

デュアルバックアップは、AOSBOX Business DBのクラウドストレージにファイルをアップロードしながら、同時にローカルドライブへのバックアップを可能にします。

☐ デュアルバックアップを有効にする

バックアップされたファイルを次の場所にコピーします:

☐ デュアルバックアップのサイズを制限

デュアルバックアップのサイズ (最小 100GB): GB

フィルターを追加:

フォルダーの場所:

A

B

A 「デュアルバックアップを有効にする」にチェックを入れ、ローカルドライブの保存場所を指定すれば、設定が有効になります。「デュアルバックアップのサイズを制限」にチェックを入れ、サイズを指定することにより、ローカルドライブにバックアップする容量を制限することができます。

B 特定のフォルダーのみをデュアルバックアップする場合は、フォルダーパスを入力してください。変数を使用すると簡単にフォルダーパスを指定することができます。さらに「フィルター」で条件をより絞ることができます。「変数を挿入」「フィルター」についてはP26をご参照ください。

設定

動作設定に関するポリシーを設定します。

The screenshot shows the '設定' (Settings) tab in the AOSBOX Business interface. The '全般設定' (General Settings) section includes the following options:

- ☐ 隠しファイルを含める
- ☒ バックアップのマーカを有効にする
- ☒ 右クリックメニューを有効にする
- ☒ 節電モードを有効にする
- ☒ プレゼンテーションモードを有効にする
- ☒ パソコン起動時にAOSBOX Business DBを実行する
- ☒ RAW画像のプレビューを生成 (要追加処理) ?
- ☒ 音楽、ビデオ、写真のストリーミングを有効にする
- 40 MBより大きいJPG画像のサムネイルを生成しない
- 次の接続時にアップロードを行う:
 - ☒ 有線LAN
 - ☒ 無線LAN(WiFi)
 - ☒ モバイルデータ通信(3G/LTE)
- ☐ マルチスレッドでアップロードする(ネットワーク速度に影響を与えます)

「隠しファイルを含める」：

隠しファイルをバックアップ対象にしたい場合にチェックを入れます。

「バックアップのマーカを有効にする」：

バックアップファイルのアイコンに、状況に応じたバックアップマーカを表示します。通常はチェックを入れておいてください。

「右クリックメニューを有効にする」：

ファイル・フォルダーにカーソルを合わせて、右クリックからバックアップ対象にすることができます。通常はチェックを入れておいてください。

「節電モードを有効にする」：

バッテリー残量が少なくなってきた時にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

「プレゼンテーションモードを有効にする」：

プレゼンテーション、ゲームプレイ、動画閲覧などの最中にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

「パソコン起動時にAOSBOX Business DBを実行する」：

パソコンを起動と同時にAOSBOX Business DBも起動します。通常はチェックを入れておいてください。

「RAW画像のプレビューを生成（要追加処理）」：

サムネイルを生成して、Webコンソール上でRAW画像をプレビュー表示できるようにします。

「音楽、ビデオ、写真のストリーミングを有効にする」：

Webコンソール上で音楽、ビデオ、写真をストリーミング表示できるようにします。また、指定のサイズより大きいJPG画像をプレビューしないようにします。

「次の接続時にアップロードを行う」：

バックアップを行うタイミングを「有線LAN」「無線LAN(WiFi)」「モバイルデータ通信(3G/LTE)」の接続方法の中から選択して、制限することができます。

「マルチスレッドでアップロードする（ネットワーク速度に影響を与えます）」：

アップロードを特にお急ぎの場合にチェックを入れます。すべてのネットワーク帯域を消費するため、通常はチェックを外しておいてください。

セキュリティ設定:

- ☐ 初回バックアップ設定時に独自パスワードの設定を許可する
- ☐ SSL(Secure Socket Layer)を使用

「初回バックアップ設定時に独自パスワードの設定を許可する」:

ユーザーに対して独自パスワードの設定を許可します。

※この設定を許可してユーザー側で独自パスワードを設定する際、キャンセルしないでください。キャンセルした時点で、コンピューターを一台分バックアップしているものと見なされます。

「SSL(Secure Socket Layer)を使用」:

データを暗号化して通信したい場合にチェックを入れます。

バックアップのスケジュール:

- ☒ 等間隔: 2時間 ▼
- 次の時間ごとに、すべての選択で完全スキャンを実行: 24時間 ▼
- 次の時間ごとに、ブロックレベルバックアップを行う: 24時間 ▼
- 警告: この頻度を高く設定すると、パソコンのパフォーマンスに影響を与えることがあります。また、上記「等間隔」で設定した時間よりも短く設定した場合は、すべてのファイルがこの時間にバックアップされます。
- ☐ 指定時刻: 開始: 1 : 00 AM ▼
- 終了: 1 : 00 AM ▼
- 曜日: ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 日

「等間隔」:

設定した時間間隔でバックアップを実行します。デフォルトでは2時間になっています。

「次の時間ごとに、すべての選択で完全スキャンを実行」: 時間を定めて全体の同期チェックを行います。

「次の時間ごとに、ブロックレベルバックアップを行う」: 時間を定めてブロックレベル対象に設定したファイルのバックアップを行います。

「指定時刻」:

設定した曜日、時間毎にバックアップを実行します。

帯域幅調整:

- ☐ 帯域幅調整を有効にする
- アップロード速度を調整: 128 Kbps ▼
- ☐ 調整のスケジュールを有効にする
- 速度調整範囲:
- 開始: 1 : 00 AM ▼
- 終了: 1 : 00 AM ▼

「帯域幅調整を有効にする」:

このチェックを入れると、バックアップするファイルをアップロードする速度を制限することができます。

「調整のスケジュールを有効にする」:

このチェックを入れると、前項で設定したアップロードする速度を、任意の時間にのみ有効になるように設定することができます。

権限

ユーザーに付与する権限についてポリシーを設定します。

通常のストレージ コールドストレージ 拡張子 デュアルバックアップ 設定 権限

Web管理ページの権限:

☒ データの削除を有効にする ☒ 共有を有効にする ☒ ログインに使用するメールアドレスの変更を許可する

☒ パスワードの変更を許可 ☒ ユーザー名の変更を許可

クライアントの権限:

☐ クライアントパスワードを追加

AOSBOX Business DB クライアントでバックアップされたデータを表示、または復元しようとしたときパスワードの入力が必要です。

4桁のパスワードを入力してください

☒ AOSBOX Business DB 権限のカスタマイズ

☒ [今すぐバックアップ]を有効にする ☒ 一時停止と再開を有効にする ☒ AOSBOX Business DBの終了を許可

☒ 共有を有効にする ☒ ファイル/フォルダーを削除可能にする ☒ ファイル/フォルダーを追加可能にする

☒ AOSBOX Business DB のアンインストールを許可する

A Webコンソール上で、ユーザーに付与する権限を設定します。

B クライアントアプリ上で、ユーザーに付与する権限を設定します。「クライアントパスワードを追加」でパスワードを設定するか、「AOSBOX Business DB 権限のカスタマイズ」で操作を個別に制限することが可能です。

「設定」タブを選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、**ポリシーに関わらず全体に適用される**設定を行います。各項目を設定して最後に「保存」をクリックします。

設定

保存 設定完了後クリック

保持設定 レポート

通常のストレージの保持

☒ 各ファイルごとに維持 10 世代

☐ ファイルの古い世代を削除: 10日

コールドストレージの保持

☒ 各ファイルごとに維持 10 世代

☐ ファイルの古い世代を削除: 10日

削除されたファイルの保持

パソコンで削除された AOSBOX Business DB にあるファイルの保持期間: 永久

ヘルプ

- Ⓐ 各ファイルのバックアップ世代を、世代を定めて取っておくか、期間を定めて削除するかを選択します。
- Ⓑ パソコンから削除されて、クラウド上で削除ファイルとして保存されているファイルの保存期間を選択します。デフォルトでは常に保持しておく設定となっています。
- Ⓒ ヘルプを表示します。

「設定」タブ以下の「レポート」を選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、使用状況や障害時の警告の通知について設定を行います。各項目を設定して最後に「保存」をクリックします。

設定

ホーム マイコンピュータ ユーザー/サーバー ポリシー 設定 レポート 購入

設定

保存 設定完了後クリック

保持設定 レポート

警告の設定

次の期間以上バックアップが行われていないときに通知する: 7 日

☒ メール通知

使用状況と警告をメールで通知する

送信間隔 1 日

送信先 xxxxxx@aos.com

件名 AOSBOX Business DB 使用状況のレポート

ヘルプ

- ① 期間を指定してバックアップが正常に行われていない場合、レポートの「確認事項」へ通知します。
- ② AOSBOX Business DBの使用状況と不具合が起きた場合の警告を、指定したメールアドレス（デフォルトは管理者のメールアドレス）へ通知します。送信間隔、件名を指定する事ができます。
- ③ ヘルプを表示します。

7. レポート

「レポート」タブを選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、使用状況に関するレポートの確認を行います。

① 「レポートを見る」をクリックすることにより、各情報を参照します。

② レポートの通知設定を行います。詳しくはP34をご参照ください。

8. 管理者の設定

アカウントアイコンをクリックして「管理者の設定」をクリックすると、以下画面が表示されます。この画面では、管理者権限を付与したユーザーに対して、権限変更の設定を行います。

アカウントアイコン

AOSBOX 管理者

アカウント設定

管理者の設定

ログアウト

AOSBOX

ホームマイコンピューターユーザー/サーバーポリシー設定レポート購入

管理者の設定

名前	メール	ファイル表示	ユーザー	ポリシー	設定	レポート	購入	管理者の設定	動作
AOSBOX 管理者	xxxxxx@aos.com	完全	完全	完全	完全	完全	完全	完全	編集
AOSBOX User A	xxuser@aos.com	完全	完全	完全	完全	完全	完全	完全	編集

A

- A** 管理者を一覧で表示します。「編集」をクリックすると、該当する管理者の権限変更が可能です。詳しくはP37をご参照ください。

AOSBOX

AOSBOX 管理者

ホーム

マイコンピュータ

ユーザー / サーバー

ポリシー

設定

レポート

購入

管理者の設定 > 管理者 AOSBOX User A の権限を変更

ファイル表示	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 表示	<input type="radio"/> 変更	<input checked="" type="radio"/> 完全
ユーザー	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 表示	<input type="radio"/> 変更	<input checked="" type="radio"/> 完全
ポリシー	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 表示	<input type="radio"/> 変更	<input checked="" type="radio"/> 完全
設定	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 表示	<input type="radio"/> 変更	<input checked="" type="radio"/> 完全
レポート	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 表示	<input type="radio"/> 変更	<input checked="" type="radio"/> 完全
購入	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 表示	<input type="radio"/> 変更	<input checked="" type="radio"/> 完全
管理者の設定	<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 表示	<input type="radio"/> 変更	<input checked="" type="radio"/> 完全

保存

完全：削除を含めた全ての操作が可能

変更：変更、表示が可能

表示：表示のみ可能

なし：権限を与えない

ファイル表示：ユーザーのファイルへのアクセス権限

ユーザー：「ユーザー / サーバー」タブへのアクセス権限

ポリシー：「ポリシー」タブへのアクセス権限

設定：「設定」タブへのアクセス権限

レポート：「レポート」タブへのアクセス権限

購入：「購入」タブへのアクセス権限

管理者の設定：管理者の設定（このページ）へのアクセス権限

※最初にライセンス登録をした管理者については、この権限を変更できません。

それぞれの変更を行い最後に「**保存**」をクリックします。

9. 容量追加 / 期限延長

以下の手順に従って、AOSBOX Business DBの容量の追加、および期限の延長を行います。

※各ライセンスキーの購入については、販売会社様にお問合せください。

- ① <https://ls.aosbox.com/login.php?cp=aokca> へアクセスし、管理者のメールアドレス、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

AOSBOX ログイン

「AOSBOX Cool / Business」をご利用いただきありがとうございます。
「AOSBOX Cool / Business」に登録いただいた際のメールアドレスとパスワードを入力していただき、「ログイン」ボタンをクリックしていただきますと、期間更新や容量追加できるページを表示します。

ログイン

メールアドレス

パスワード

ログイン

© 2012-2015 AOS DATA, Inc. All Rights Reserved.

- ② 使用中のアカウント情報を表示します。※容量については、仕様上、コールドストレージの容量のみを表示しています。通常ストレージのみをご契約のお客様は、契約容量が「16EB」と表示されます。
容量の追加を行う場合は「更新キーで容量追加」をクリックして手順③へ、期限の延長を行う場合は「更新キーで期限延長」をクリックして手順④へ進んでください。

AOSBOX Cool / Business マイページ

ログアウト

アカウント情報

- アカウント詳細
- 容量追加
- 更新キーを購入
- 更新キーで容量追加
- 期限延長
- 更新キーを購入
- 更新キーで期限延長

アカウント詳細

契約内容

メールアドレス	xxxxx@aos.com
契約容量	100GB
使用容量	0GB
有効期限	2021/10/03

手順③へ

手順④へ

© 2012-2015 AOS DATA, Inc. All Rights Reserved.

- ③ 「更新ライセンスキー」に購入したライセンスキーを入力し、「容量追加」をクリックします。これで容量追加は完了です。

The screenshot shows the 'AOSBOX Cool / Business 마이페이지' (My Page) interface. On the left, a sidebar menu includes 'アカウント情報' (Account Info), '容量追加' (Add Capacity), and '期限延長' (Extend Term). The '容量追加' section is active, displaying a table with contract details: 'メールアドレス' (Email Address) as 'xxxxx@aos.com', '契約容量' (Contract Capacity) as '100GB', and '使用容量' (Used Capacity) as '0GB'. Below this, a section titled '購入した更新ライセンスキーで容量追加' (Add Capacity with Purchased Update License Key) features a text input field for the '更新ライセンスキー' (Update License Key) and a blue '容量追加' (Add Capacity) button. The footer contains the copyright notice '© 2012-2015 AOS DATA, Inc. All Rights Reserved.'

- ④ 「更新ライセンスキー」に購入したライセンスキーを入力し、「期限延長」をクリックします。これで期限延長は完了です。

The screenshot shows the 'AOSBOX Cool / Business 마이페이지' (My Page) interface, similar to the previous one but with the '期限延長' (Extend Term) section active. The sidebar menu highlights '期限延長'. The contract details table remains the same. The section '購入した更新ライセンスキーで期限延長' (Extend Term with Purchased Update License Key) contains a text input field for the '更新ライセンスキー' (Update License Key) and a blue '期限延長' (Extend Term) button. The footer contains the copyright notice '© 2012-2015 AOS DATA, Inc. All Rights Reserved.'

◆解約方法

販売店様により異なります。詳しくはご購入時の販売店様へお問い合わせください。

◆解約した場合の流れ

定められた利用停止日になるとログインができなくなり、バックアップは停止します。利用停止日前に、お客様においてデータの保全・移動をお願いします。

◆解約後のバックアップデータの扱い

1 か月のデータ保存をした後、規約に基づき、データはクラウド上から完全に削除されます。

11. パスワードを忘れた場合

パスワードがわからなくなってしまった場合、以下の手順に従って、パスワードの再設定を行います。

※管理情報(メールアドレス、パスワード)を変更するとバックアップが停止します。必ず操作⑤まで完了してください。

- ① Web管理画面のログイン画面より「パスワードを忘れた場合」をクリックして、「パスワードを忘れた場合」画面 (<https://aokca.aosboxrs.com/ForgetPassword>) にアクセスします。

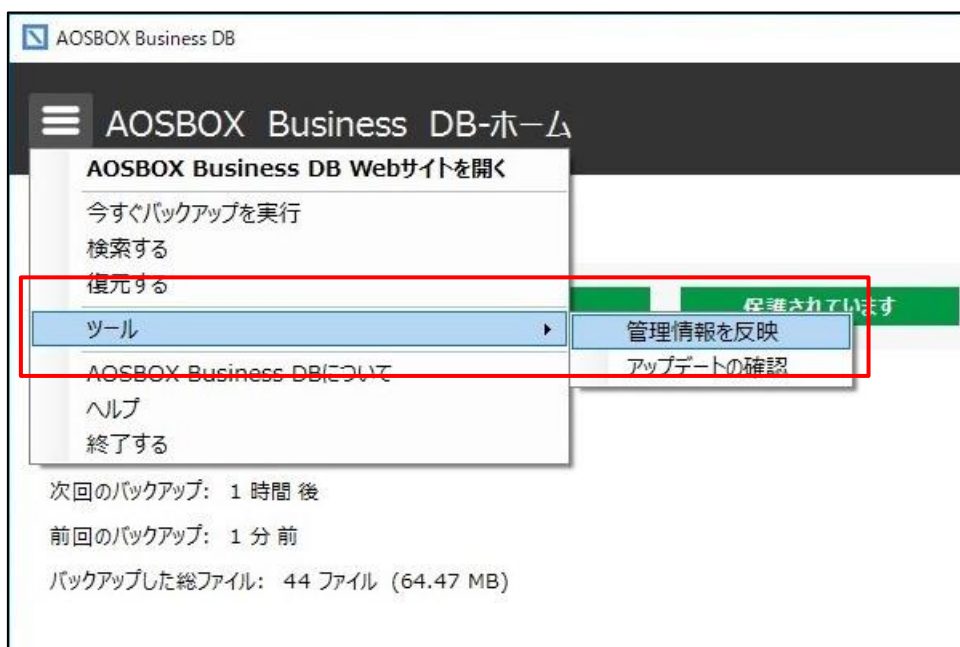
- ② 表示された「パスワードを忘れた場合」画面で、アカウントのメールアドレスを入力し[送信]をクリックします。

11. パスワードを忘れた場合

- ③ パスワードをリセットするためのリンクを含むメールが @aosbox.com ドメインより到着します。メール内のリンクをクリックして、新しいパスワードを指定します。



- ④ クライアントアプリを起動し、左上「三」アイコンをクリック→「ツール」→「管理情報を反映」をクリックします。
※該当するアカウントでAOSBOXがインストールされている端末全てで行います。



11. パスワードを忘れた場合

- ⑤ 操作④を行うと、新しいパスワードの入力を求められます。ご利用のメールアドレスと新しいパスワードを入力し、情報を更新してください。

※本操作を完了しないと、バックアップが停止したままとなります。



The screenshot shows a dialog box titled "AOSBOX Business DB" with a yellow warning triangle icon. The message inside reads: "AOSBOX Business DBアカウントのメールアドレスまたはパスワードが変更されています。継続して利用するにはメールアドレスとパスワードを入力してください。" (The email address or password of the AOSBOX Business DB account has been changed. Please enter the email address and password to continue using it.). Below the message are two input fields: "メール:" (Email) and "パスワード:" (Password). Both input fields are highlighted with a red rectangular border. An "OK" button is located at the bottom right of the dialog box.



AOSBOX Business DBの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■動作環境

■Windows版:

システム要件は次の通りです:

- ・ Windows 11(64bit版対応)／Windows 10(各32/64bit版対応) (日本語版)
- ・ Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 (日本語版)
Windows Insider Preview上での動作はサポートされません。
Windows Serverの場合、デスクトップエクスペリエンスとしてセットアップされている必要があります。
- ・ ネットワーク速度：128kbps以上（推奨10Mbps以上）のインターネット接続環境
- ・ 解像度：1024 x 768以上の画面解像度

※Windows Storage Server 搭載製品および、NAS製品をPC経由でバックアップをご検討の場合は、トライアル版などを使用して、運用に近い条件（容量/ファイル数）で十分な検証をお願いいたします。

■AOSBOX Web管理ページ:

AOSBOX Web管理ページにアクセスするには、最新のブラウザーをご利用ください。以下のブラウザーを使用することを推奨します:

- ・ Microsoft Edge
- ・ Mozilla Firefox
- ・ Google Chrome

■モバイル端末:

AOSBOXでは、iOSやAndroid OSを搭載したスマートフォンで、AOSBOXモバイルビューアを使用することでパソコンでバックアップしたファイルの閲覧やダウンロードを行うことができます。

本マニュアルの対象となるAOSBOXではモバイル端末のバックアップはできません。モバイル端末のバックアップには、AOS Cloud をご利用ください。



AOSBOX Business DBの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■おまかせバックアップ対象ファイル

■メール

- ・ Outlook 2003～2013（既定のフォルダーにある*.pstファイル）
- ・ Windows (Live) メール（既定のフォルダーにある*.emlファイル、*.contactファイル、およびstationary files、community files、.oeaccount、rules）
- ・ Outlook Express（既定のフォルダーにある*.dbxファイル、*.wabファイル）

■デスクトップ

デスクトップ上にあるショートカットを除くすべてのファイル・フォルダー

■マイドキュメント

マイドキュメント/パブリック（共有）ドキュメントフォルダーにあるすべてのファイル・フォルダー

■Officeファイル

デスクトップ、ドキュメントフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

[.doc][.docx][.dot][.dotx][.docm][.dotm][.txt][.rtf][.wri][.abw][.odt][.ott][.stw][.vor][.sdw][.fodt]
[.psw][.vot][.sxw][.lwp][.wpd][.ppt][.pps][.pot][.pptx][.pptm][.potx][.potm][.ppam][.ppsx][.ppsm]
[.ppa][.odp][.otp][.sxi][.sti][.sxd][.sda][.sdd][.vop][.odj][.prz][.shw][.xls][.xlt][.xla][.xlsx][.xlsm]
[.xltx][.xltm][.xlsb][.xlam][.ods][.ots][.sxc][.stc][.dif][.slk][.fods][.pxl][.vos][.qpw][.wk1][.wk3]
[.wk4][.mdb][.mdw][.mda][.adb][.ade][.accdb][.accde][.accdt][.accdr][.odb][.apr][.dbf][.odf]
[.sxm][.pdx][.vsd][.vss][.vst][.vdx][.vsx][.vtx][.odg][.otg][.std][.fodg][.pub][.mpp][.mpd][.mpt]
[.mpw][.mpx]

■画像ファイル

ユーザーのマイピクチャ、およびパブリック（共有）ピクチャフォルダーにあるすべてのファイル

■音楽ファイル

ユーザーのマイミュージック、およびパブリック（共有）ミュージックフォルダーにあるすべてのファイル

■ビデオファイル

ユーザーのマイビデオ、およびパブリック（共有）ビデオフォルダーにあるすべてのファイル

■ブックマーク

Internet Explorer、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera、およびSafariのブックマーク（お気に入り）



AOSBOX Business DBの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■ 財務・会計ファイル

デスクトップ、ドキュメントフォルダーおよび以下のフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

- ・ C:¥Program Data
- ・ C:¥ACCP
- ・ C:¥OBCWIN
- ・ C:¥MSSQL7

- ・ Microsoft Money:[.mny]
- ・ Quicken:[.qbw][.qel][.qsd][.qph]
- ・ Quickbooks:[.qbb]
- ・ TurboTax:[.tax]
- ・ TaxCut:[.t01][.t02][.t03][.t04][.t05][.t06][.t07][.t08][.t09]
- ・ PeachTree:[.ptb]
- ・ その他:

[.qdf][.ypr][.kyr][.ypb][.acc][.saccp][.jbi][.jbf][.ldf][.mdf][.hb1][.hb2][.hb3][.hb4][.hb5][.hb6][.hb7][.hb8][.hb9][.hb10][.hb11][.hb12][.hb13][.hb14][.hb15][.hb16][.he1][.he2][.he3][.he4][.he5][.he6][.he7][.he8][.he9][.he10][.he11][.he12][.he13][.he14][.he15][.he16][.klb1][.klb2][.klb3][.klb4][.klb5][.klb6][.klb7][.klb8][.klb9][.klb10][.klb11][.klb12][.klb13][.klb14][.klb15][.klb16][.hlx1][.hlx2][.hlx3][.hlx4][.hlx5][.hlx6][.hlx7][.hlx8][.hlx9][.hlx10][.hlx11][.hlx12][.hlx13][.hlx14][.hlx15][.hlx16][.ad1][.ad2][.ad3][.ad4][.ad5][.ad6][.ad7][.ad8][.ad9][.ad10][.ad11][.ad12][.ad13][.ad14][.ad15][.ad16][.ab1][.ab2][.ab3][.ab4][.ab5][.ab6][.ab7][.ab8][.ab9][.ab10][.ab11][.ab12][.ab13][.ab14][.ab15][.ab16][.kd1][.kd2][.kd3][.kd4][.kd5][.kd6][.kd7][.kd8][.kd9][.kd10][.kd11][.kd12][.kd13][.kd14][.kd15][.kd16][.kb1][.kb2][.kb3][.kb4][.kb5][.kb6][.kb7][.kb8][.kb9][.kb10][.kb11][.kb12][.kb13][.kb14][.kb15][.kb16][.kt1][.kt2][.kt3][.kt4][.kt5][.kt6][.kt7][.kt8][.kt9][.kt10][.kt11][.kt12][.kt13][.kt14][.kt15][.kt16][.dd1][.dd2][.dd3][.dd4][.dd5][.dd6][.dd7][.dd8][.dd9][.dd10][.dd11][.dd12][.dd13][.dd14][.dd15][.dd16][.db1][.db2][.db3][.db4][.db5][.db6][.db7][.db8][.db9][.db10][.db11][.db12][.db13][.db14][.db15][.db16][.lb1][.lb2][.lb3][.lb4][.lb5][.lb6][.lb7][.lb8][.lb9][.lb10][.lb11][.lb12][.lb13][.lb14][.lb15][.lb16][.lx1][.lx2][.lx3][.lx4][.lx5][.lx6][.lx7][.lx8][.lx9][.lx10][.lx11][.lx12][.lx13][.lx14][.lx15][.lx16]

■ 電子書籍とPDFと年賀状ソフト

デスクトップ、ドキュメントフォルダーおよび以下のフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

- ・ C:¥Program Data
- ・ C:¥JUST

[.azw][.tpz][.azw1][.chm][.lit][.pdb][.pdf][.mobi][.prc][.tr][.tr2][.tr3][.fb2][.opf][.aeh][.lrf][.lrz][.epub][.pdg][.pkg][.dnl][.djvu][.kml][.arg][.bfl][.bkk][.brn][.ceb][.ebk][.ebo][.ebx][.etd][.f4b][.hsb][.imp][.mbp][.mep][.nat][.oeb][.rb][.scb][.skn][.stk][.swb][.tcr][.tk3][.ubk][.vbk][.xeb][.ybk][.zvr]

- ・ 筆まめ:[.fwa][.fwb]
- ・ 筆王:[.fzd][.pdn]
- ・ 筆ぐるめ:[.fga][.fgl][.idx][.fgt]
- ・ 楽々はがき:[.jsr][.jyd]
- ・ はがきスタジオ:[.hsa][.hsd]



AOSBOX Business DBの動作環境について

※最新情報はWebページをご参照ください。

■その他

- ・インターネットへの接続環境が必要です。また、クラウド上にファイルをバックアップするため、ネットワークにある程度の負荷がかかることが予測されます。
- ・1台のパソコンにつき、1インストールでご使用ください。
- ・1ユーザーで3台のパソコンのバックアップが可能です。
- ・他のバックアップアプリケーションを同時に導入すると、AOSBOX Business DBを含むバックアップアプリケーションの動作に影響が発生することがあります。なお、AOSBOX Business DBは、Windowsサービス「Volume Shadow Copy Service」を利用します。
- ・初回のバックアップはバックアップする容量によって、1日以上時間を要することがあります。
- ・コールドストレージのデータの復元には、3～5時間程度の待機時間が発生します。
- ・バックアップしたファイルをクラウド上から削除すると、バックアップ対象から外れます。
- ・世代管理しているファイルは特定の世代だけクラウドから削除することはできません。
- ・AOSBOX Business DBの契約を解除後に再契約しても、以前のバックアップデータは削除されていますので、復元等はできかねます。
- ・サーバメンテナンスなどで復元できない時が発生する可能性がありますが、利用規約でご同意いただいた範囲外は保証できかねますので、ご了承ください。

サーバー/パソコン（以下、端末）を入れ替える際、最初に、古い端末でバックアップしていたデータを、新しい端末に復元するか、復元せずにアーカイブとして残しておくか、または復元せずに削除するかを、目的に応じて選択します。その後、新しい端末のAOSBOXにログインを行います。

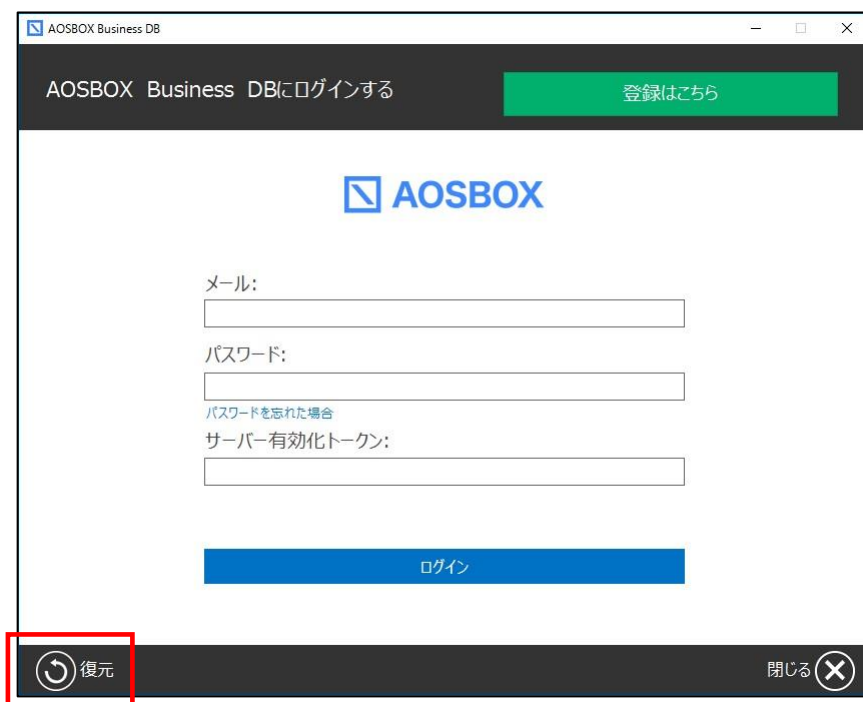
手順 1. 古い端末でバックアップしていたデータを新しい端末に復元する

新しい端末にAOSBOXをインストールし、AOSBOXにログインする前に復元ユーティリティを実行して古い端末のデータを新しい端末に復元します。

- (1) Web管理画面 (<https://aokca.aosboxrs.com/Signin>)へアクセスし、管理者のメールアドレス、パスワードを入力し、「**ログイン**」をクリックします。
- (2) 「バックアップ概要」のページが開きますので、画面右上の「**AOSBOX Business DBをダウンロード**」をクリックし、ダウンロードされた「CloudBackupSetup.exe」にて「**AOSBOX Business DBにログインする**」までインストールを進めます。（参照：サーバーの場合は**P21①～⑥**まで、パソコンの場合は**P04、P05③～⑨**まで）

※新しい端末へクラウドからデータを復元する必要が無い場合は、本項「手順1」(3)以降はスキップして「手順2」へ進んでください。

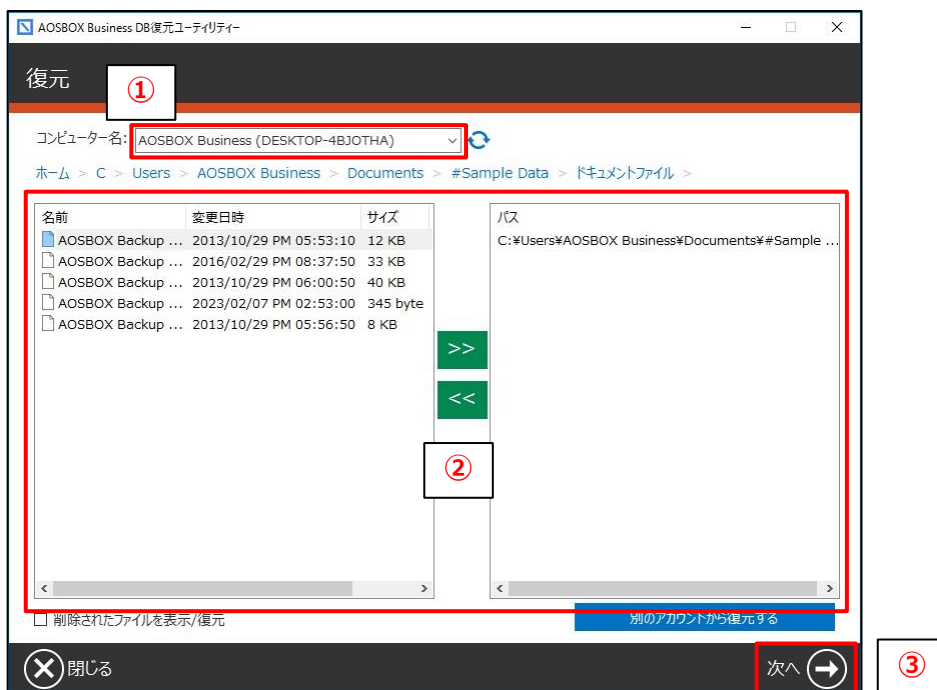
- (3) 「AOSBOX Business DBにログインする」画面にて、左下「**復元**」をクリックします。



- (4) 復元ユーティリティが立ち上がりますので、メールアドレス、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



- (5) ①古い端末の「コンピューター名」を選択し、②中央の緑の「>>」ボタンを操作して、復元したいファイル・フォルダーを右ウィンドウに移動します。③選択が終わったら「次へ」をクリックします。



(6) 復元する場所、および復元オプションを設定して「次へ」をクリックします。

(7) 復元完了まで待ちます。

復元完了後、古い端末のアーカイブまたは削除を行います。(次ページ参照)

手順2. 古い端末をアーカイブまたは削除する

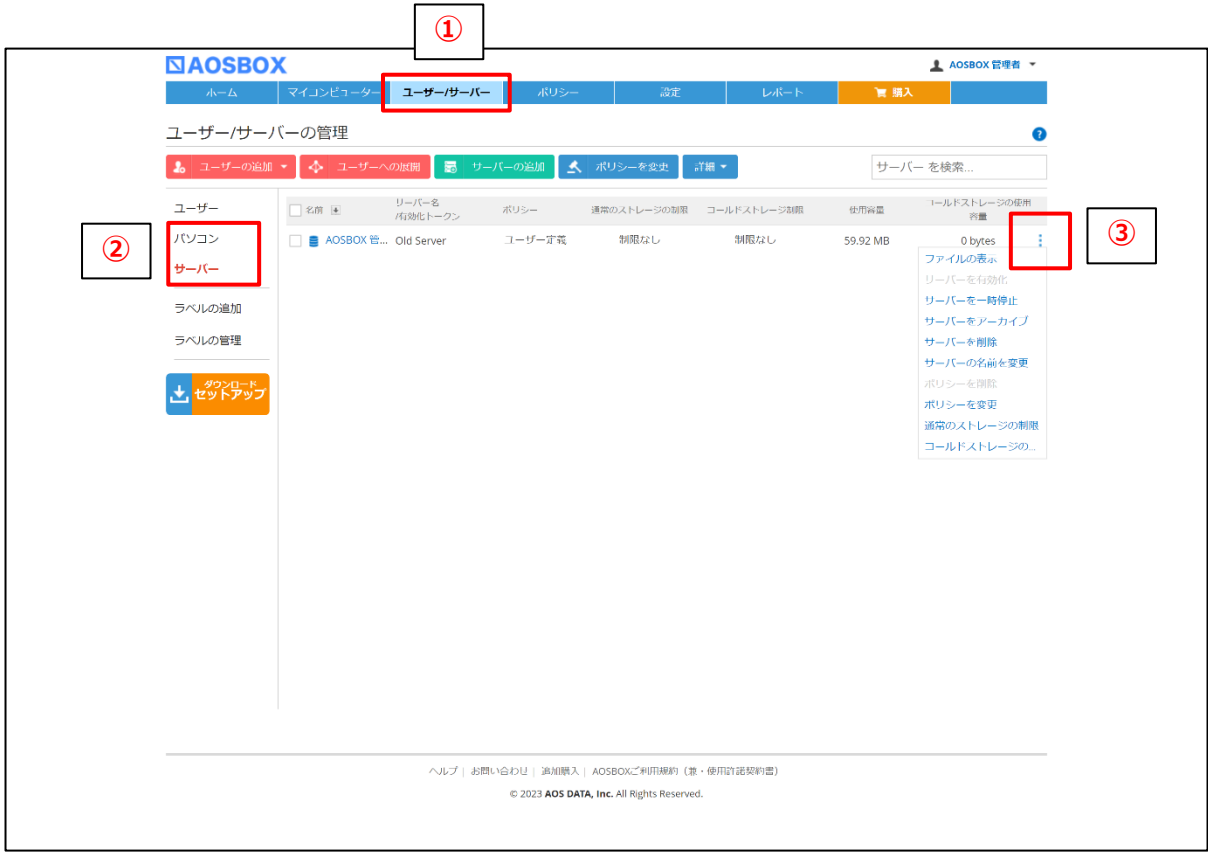
新しい端末で引き続きAOSBOXを使用するにあたり、Web管理画面から古い端末のアーカイブまたは削除を行います。

アーカイブ：以後運用するバックアップからは切り離しますが、これまでのバックアップデータをクラウドに残します。

削除：該当端末上でこれまでバックアップしたデータすべてが恒久的に削除されます。

アーカイブするか削除するかは、**ご契約容量の残容量等よりよく検討してから操作をお願いします。**一度「**削除**」を選択するとバックアップデータは復元できなくなりますので、選択に注意してください。

Web管理画面 (<https://aokca.aosboxrs.com/Signin>)にて、①「**ユーザー/サーバー**」タブをクリックし、②パソコンまたはサーバーをクリックしてアーカイブしたい端末を表示します。③アーカイブしたい端末の「**動作アイコン**」から「**パソコン/サーバーをアーカイブ**」または「**パソコン/サーバーを削除**」をクリックします。



上記操作完了後、インストールの続きを行います。(次ページ参照)

手順3. 新しい端末でのインストールを完了する

古い端末のバックアップデータの整理が済んだら、新しい端末でAOSBOXのインストールを完了させます。

サーバーの場合：

- (1) まず、**P19、P20を参照**して「**サーバーの追加**」を行います。この操作でダウンロードされるインストーラーは使用しないので破棄してください。
- (2) **P22⑦以降**の手順に従って、インストールを完了させます。適宜「バックアップ項目の選択」、「設定」の設定を行います。

パソコンの場合：

P05⑩以降の手順に従って、インストールを完了させます。適宜「バックアップ項目の選択」、「設定」の設定を行います。

以上で作業は完了です。

バックアップしている端末上でファイルを削除しても、初期設定ではAOSBOXクラウド上のファイルは削除されません。空き容量を確保するには、次の操作のいずれかを行います。

方法1. 保持設定(ストレージの保持、削除されたファイルの保持)を変更する

- (1) Web管理画面 (<https://aokca.aosboxrs.com/Signin>)へアクセスし、管理者のメールアドレス、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。
- (2) ①「設定」タブをクリックし、②それぞれの項目について変更を行い、③最後に画面右下の「保存」をクリックします。

通常の/コールドストレージの保持：

バックアップの世代をどれだけ保つかを設定する項目です。初期設定は「10世代」に設定されています。最小「2世代」まで変更する事が可能です。

削除されたファイルの保持：

バックアップしている端末(ローカル)上で削除したファイルの、AOSBOXクラウド上での扱いを設定する項目です。初期設定は「無期限」(※ローカルで削除したファイルをAOSBOXクラウドでは必ず残す)に設定されています。最短「3日」でローカルで削除したファイルをAOSBOXクラウドからも削除するように変更する事が可能です。

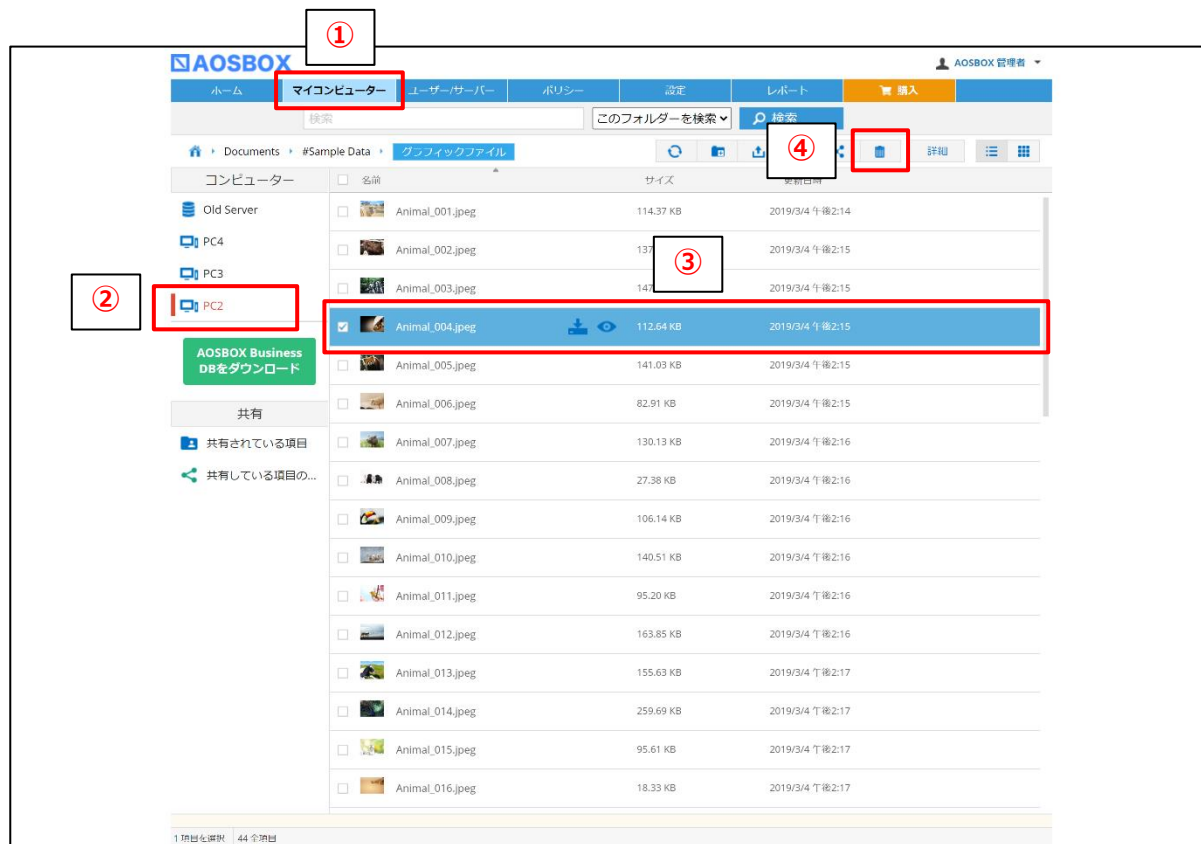
※変更した設定は24時間以内に反映されます。

方法2. 不要なバックアップ済みファイルを手動で削除する

【ご注意】バックアップ済みのファイルをクラウド上から削除すると、削除されたファイルの全世代が削除されアプリからの復元、Web管理画面からのダウンロードができなくなります。また、クラウドから削除されたファイルと同じパス(フォルダー階層)にある同名ファイルは以後バックアップ対象から除外され、再度バックアップはできなくなります。

- (1) Web管理画面 (<https://aokca.aosboxrs.com/Signin>)へアクセスし、管理者のメールアドレス、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。
- (2) ①「マイコンピューター」タブをクリックし、②画面左側のサーバー/パソコン（以下、端末）一覧から削除したいデータのある端末を選択します。③削除したいファイル/フォルダーにチェックを入れて、④削除アイコンをクリックします。

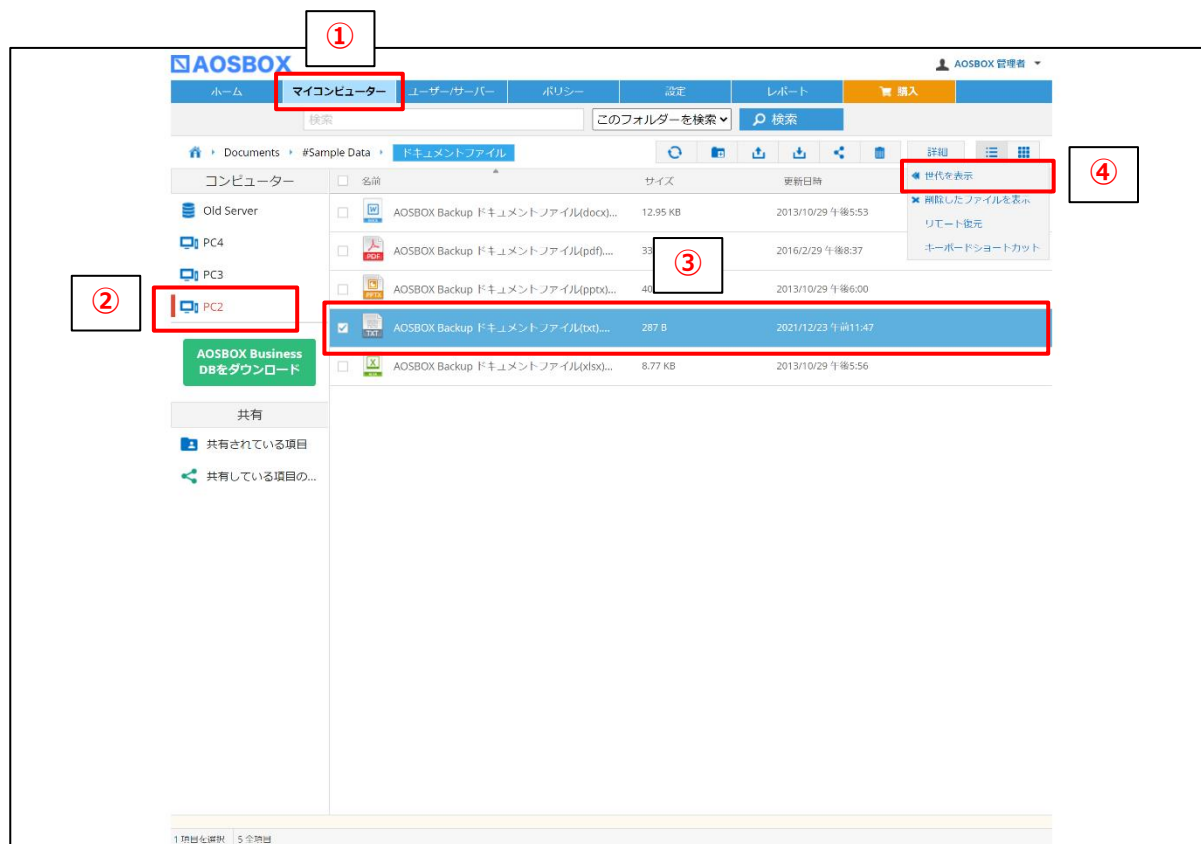
※削除したファイルは二度と復元できなくなりますので、選択内容をよくご確認の上、実行してください。



既にバックアップ元(ローカル)から削除されているファイルをクラウドからも削除したい場合は、画面右上「詳細」メニューから「削除したファイルを表示」をクリックすると、バックアップ元(ローカル)から削除されているファイルが表示されるようになります。

方法3. バックアップ済ファイルの不要な世代を削除する

- (1) Web管理画面 (<https://aokca.aosboxrs.com/Signin>)にて、①「マイコンピューター」タブをクリックし、②画面左側のサーバー/パソコン（以下、端末）一覧から世代を削除したいデータのある端末を選択します。③世代を削除したいファイルにチェックを入れて、④「詳細」メニューから「世代を表示」をクリックします。



- (2) 表示されたウィンドウから、削除したい世代の「削除」をクリックします。

※削除した世代は二度と復元できなくなりますので、選択内容をよくご確認の上、実行してください。



方法4. 不要なサーバー/パソコンを削除する

【ご注意】サーバー/パソコン（以下、端末）を削除した時点で、その端末内のバックアップデータはすべて消去され、一切アクセスできなくなりますので、選択内容をよくご確認の上、実行してください。

- (1) Web管理画面 (<https://aokca.aosboxrs.com/Signin>)にて、①「ユーザー/サーバー」タブをクリックし、削除したい端末の所有ユーザーをクリックします。②削除したい端末の「動作アイコン」から「サーバーを削除」/「パソコンを削除する」をクリックします。

The screenshot shows the AOSBOX management interface. The top navigation bar includes 'ホーム', 'マイコンピュータ', 'ユーザー/サーバー', 'ポリシー', '設定', 'レポート', and '購入'. The 'ユーザー/サーバー' tab is selected and highlighted with a red box and a circled '1'. Below the navigation bar, there's a section for 'ユーザー/サーバーの管理' with buttons for 'ユーザーの追加', 'ユーザーへの削除', 'サーバーの追加', 'ポリシーを全変', and 'リセット'. The main content area shows the user 'AOSBOX 管理者' with details like email, creation date, and storage usage. Below this, there's a table for 'パソコン (3)' with columns for 'ユーザー名/コンピュータ名', '状態', '最後の操作', '通常のストレージの制限', 'コールドストレージ制限', '使用容量', and 'コールドストレージの使用容量'. The table lists three PCs: PC2, PC3, and PC4. For PC4, a dropdown menu is open, showing options like 'ファイルの表示', 'パソコンを有効化する', 'パソコンを一時停止する', 'パソコンを再起動する', 'パソコンを削除する', 'パソコンの名前を変更', '通常のストレージの制限', and 'コールドストレージの制限'. The 'パソコンを削除する' option is highlighted with a red box and a circled '2'.

- (2) 以下の確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックして削除します。

※削除した端末は二度と復元できなくなりますので、選択内容をよくご確認の上、実行してください。

パソコンを削除する

選択した端末を削除すると、その情報とファイルはAOSBOX Business DBから恒久的に削除され、二度とアクセスできなくなります。続行しますか？

既にバックアップされているファイルのストレージ間移動はできません。バックアップ済みファイルを別のストレージ(通常のストレージ⇄コールドストレージ)に移動したい場合は、バックアップの取り直しが必要になります。

手順 1. ファイルを復元する

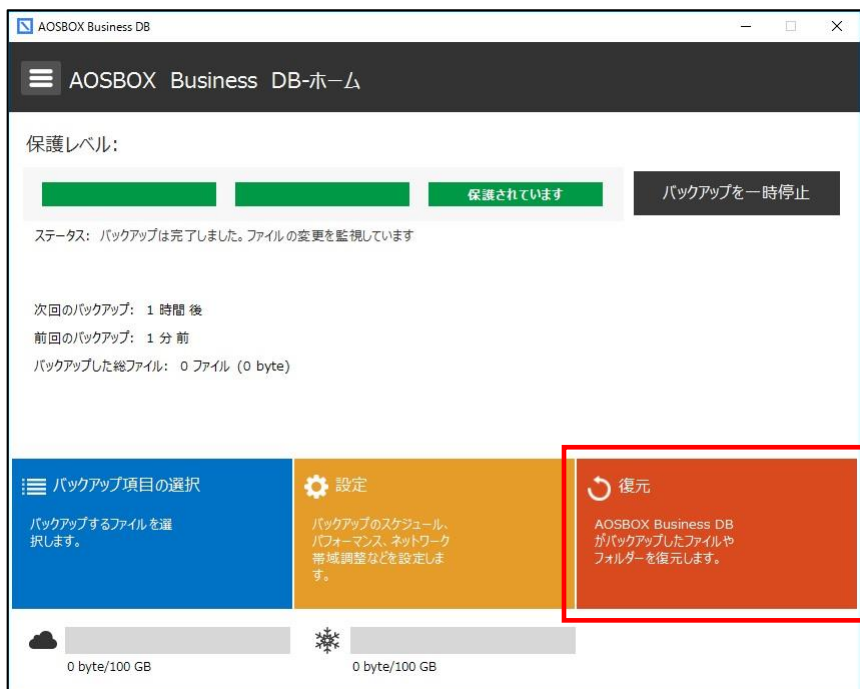
バックアップを取り直すためには、ローカルサーバー/パソコン（以下、端末）上にファイルが必要になります。ローカル端末上に目的のファイルが無い場合、クライアントアプリを用いてファイルの復元を行います。

※ローカル端末上に目的のファイルがある場合は、本項「手順1」はスキップして「手順2」へ進んでください。

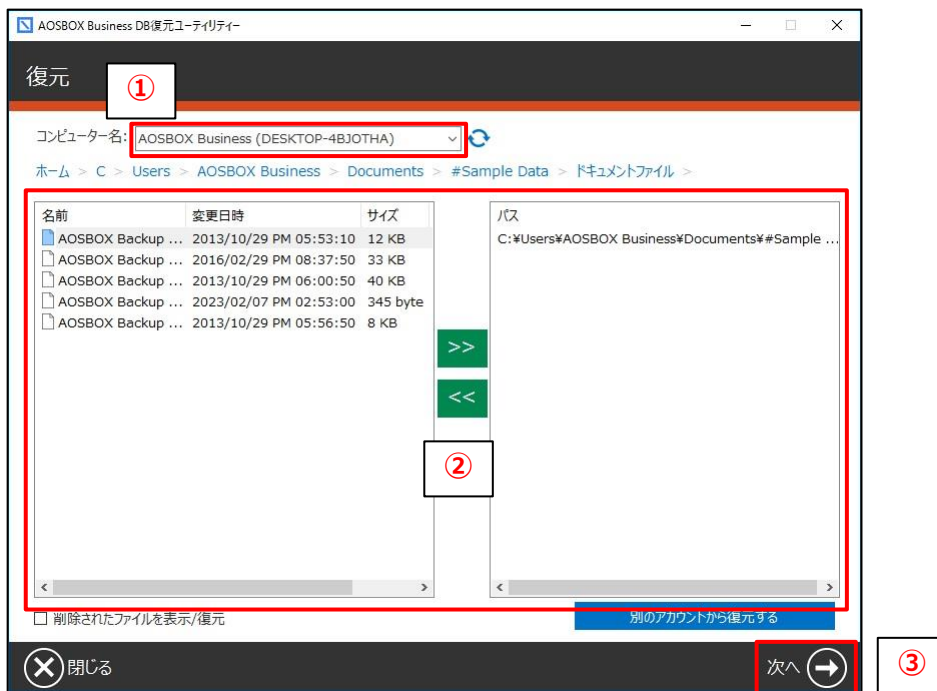
(1) ショートカットアイコン等からクライアントアプリを起動します。



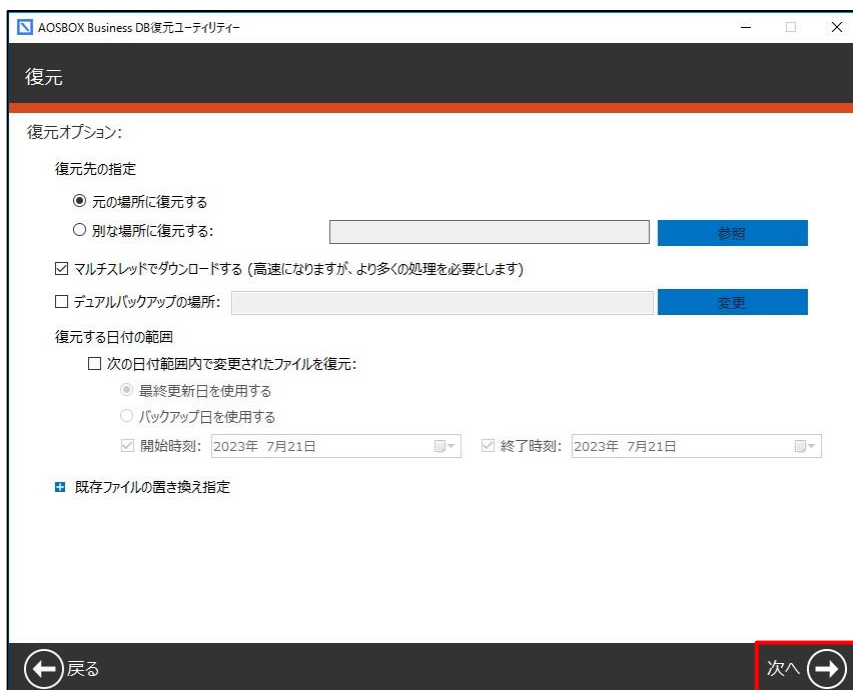
(2) ホーム画面にて、右下「復元」をクリックします。



- (3) 復元ユーティリティが立ち上がりますので、①「コンピューター名」を選択し、②中央の緑の「>>」ボタンを操作して、復元したいファイル・フォルダーを右ウィンドウに移動します。③選択が終わったら「次へ」をクリックします。



- (4) 復元する場所、および復元オプションを設定して「次へ」をクリックします。



(5) 復元完了まで待ちます。

復元完了後、現在(移動前)の端末の削除を行います。(次ページ参照)

手順2. バックアップ済みの端末を削除する

バックアップするストレージを変更するにあたり、Web管理画面から現在バックアップしている端末の削除を行います。

- (1) Web管理画面 (<https://aokca.aosboxrs.com/Signin>)にて、①「ユーザー/サーバー」タブをクリックし、削除したい端末の所有ユーザーをクリックします。②削除したい端末の「動作アイコン」から「サーバーを削除」/「パソコンを削除する」をクリックします。

The screenshot shows the AOSBOX management interface. The 'ユーザー/サーバー' tab is selected and highlighted with a red box and a circled '1'. Below the tab, there's a section for 'ユーザー/サーバーの管理' with buttons for 'ユーザーの追加', 'ユーザーへの削除', 'サーバーの追加', 'ポリシーを指定', and '詳細'. A search bar for 'ユーザー' is also present. On the left sidebar, there are links for 'ユーザー', 'パソコン', 'サーバー', 'ラベルの追加', and 'ラベルの管理'. The main content area shows details for a user named 'AOSBOX 管理者' with email 'h.hashikura@aos.com'. Below this, there are two tables: 'パソコン (3)' and 'サーバー (1)'. In the 'パソコン' table, the '動作' column has a dropdown menu open for the 'PC4' entry, with 'パソコンを削除する' highlighted by a red box and a circled '2'. The 'サーバー' table shows one server named 'AOSBOX 世... Old Server'.

- (2) 以下の確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックして削除します。

※削除した端末は二度と復元できなくなりますので、選択内容をよくご確認の上、実行してください。

パソコンを削除する

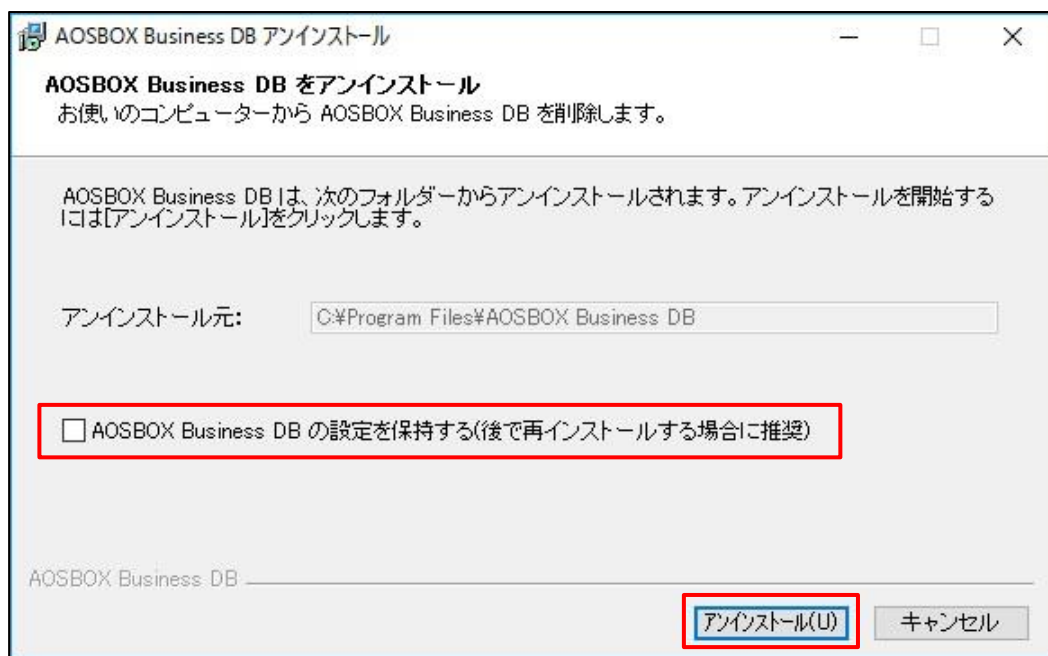
選択した端末を削除すると、その情報とファイルはAOSBOX Business DBから恒久的に削除され、二度とアクセスできなくなります。続行しますか？

OK キャンセル

手順3. AOSBOXを“設定を保持せず”アンインストールする

インストールをし直すため、ローカル端末から現在動作しているAOSBOXのアンインストールを行います。

- (1) Windows 設定の「**アプリと機能**」を開きます。
- (2) アプリ一覧からAOSBOX Business DBを選択し「**アンインストール**」をクリックします。
- (3) アンインストールウィザードが表示されます。**必ず「AOSBOX Business DB の設定を保持する(後で再インストールする場合に推奨)」のチェックを外してください。**



- (4) 「**アンインストール**」をクリックして、アンインストール処理を続行、手順に従って完了します。

手順4. 再インストールおよびバックアップ項目の選択を行う

アンインストール後、改めてローカル端末でAOSBOXのインストールとバックアップ項目の選択を行います。

サーバーの場合 :

- (1) まず、**P19、P20を参照**して「サーバーの追加」を行います。
- (2) **P21以降**の手順に従って、インストールを完了させます。適宜「バックアップ項目の選択」で移動先ストレージでの対象選択、「設定」の設定を行います。

パソコンの場合 :

P04②以降の手順に従って、インストールを完了させます。適宜「バックアップ項目の選択」で移動先ストレージでの対象選択、「設定」の設定を行います。

以上で作業は完了です。



AOSBOX
Business